



広報

なぎそで

2024

5

No.449

NAGISO TOWN INFORMATION



なぎそども園 入園式

4月3日、なぎそども園にて入園式が行われました。

今年は年少さんが16名入園し、年中、年長さんと共にぎやかな園生活をおくることと思います。

今月の主な内容

令和6年度 当初予算	2p
令和6年度施政方針（要旨）	4p
後期高齢者医療制度のお知らせです	
令和6・7年度の保険料率が決まりました	12p
高齢者肺炎球菌予防接種は65歳が対象です	14p
議会報	22p
公民館報	38p

人の動き | 人口3,716人 男/1,789人 女/1,927人
世帯/1,649戸 (4月1日現在)

令和6年4月22日発行

お願い 新型コロナウイルス感染拡大防止のための
一人一人の意識を高めてください

町の対策情報はこちら→



JAPAN HERITAGE

日本遺産

木曾路はすべて山の中



しあわせ
信州



the most beautiful
villages
in japan

南木曾町は「日本で
最も美しい村」連合
に加盟しています。

令和6年度 当初予算

令和6年度の一般会計当初予算額は39億4,500万円で、前年度当初予算と比較して3・7%の減となりました。これは木曽広域連合木曽寮建設事業が完了したことから分担金が大きく減少したことによるものです。

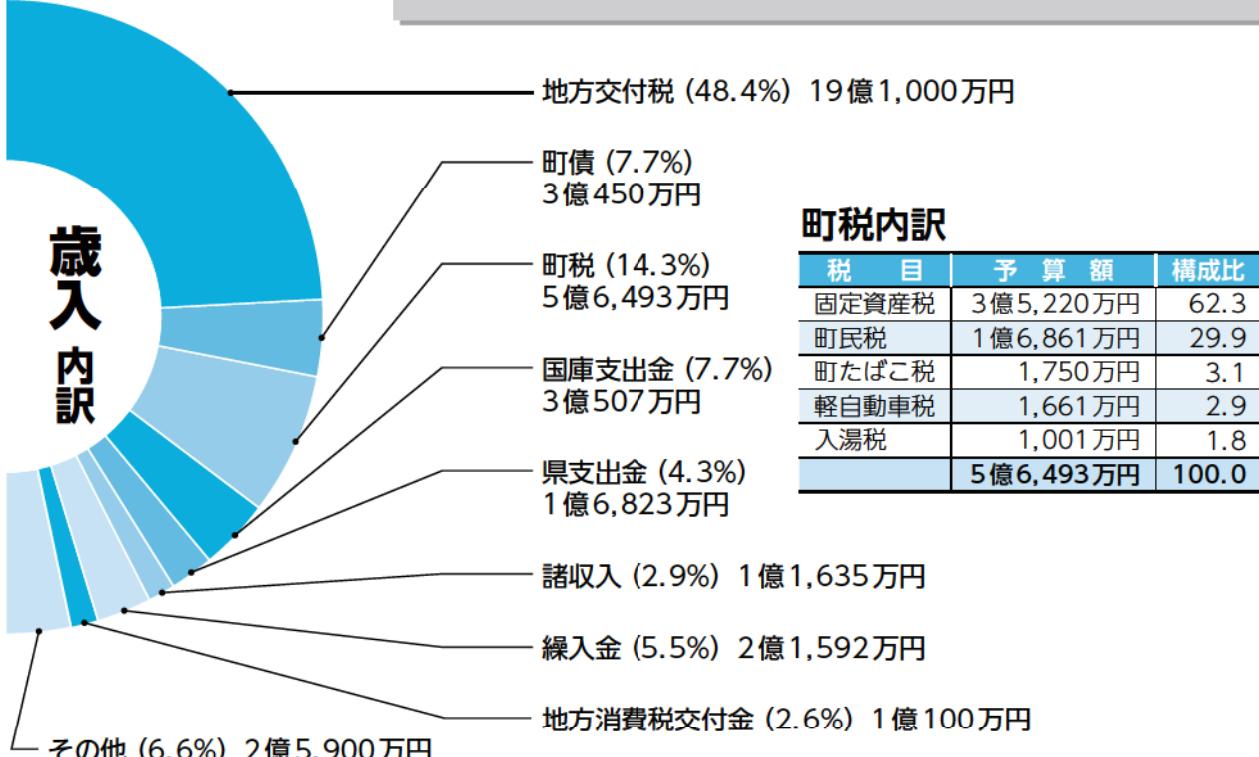
主な事業としては、街なみ環境整備事業（妻籠地区防災施設改修工事）、国土強靭化事業（町道天白川向線防災工事）等の補助事業を計画しているほか、拡充される児童手当事業のシステム改修経費等を計上しました。公債費については令和3年度までの大型事業（広域ケーブルテレビ光化事業等）の元金償還が始まつたことにより、前年度対比7・3%の増となりました。

歳入については、町税全体で前年度比70万円減額の5億6,493万円を計上しました。地方譲与税は、森林環境譲与税の制度改正等により830万円増の6,800万円としました。地方交付税は19億1,000万円を計上しました。使用料は観光客の増などを見込み、新交通システム、博物館使用料等で2,407万円増額の9,532万円を計上しました。

歳出については、分野別の主たる事業として、総務費において旧田立電機建物解体事業、サテライトオフィス施設整備事業を、教育費においては田立社会教育施設体育館屋根塗装改修事業の費用などを計上しました。

特別会計は、国民健康保険、宅地造成事業、後期高齢者医療の総額で4億6,249万円を計上しました。（前年度対比6・2%増）水道・下水道企業会計は4会計で予算計上をしました。

一般会計予算総額 39億4,500万円



特別会計予算総額 4億6,249万円

会計区分	予算額	対前年度増減率
南木曽町国民健康保険特別会計	3億4,059万円	0.6
南木曽町宅地造成事業特別会計	3,527万円	141.3
南木曽町後期高齢者医療特別会計	8,663万円	5.2
特別会計合計	4億6,249万円	6.2

一般会計の主な事業（分野別）

総務費 (27.7%) 10億9,268万円	
旧田立電機建物除却工事	5,720万円
戸籍電子情報処理（コンビニ交付等）	4,179万円
総合計画作成委託料	500万円
地域おこし協力隊	2,701万円
サテライトオフィス施設整備	2,446万円
地域バス運行委託	7,214万円
結婚支援推進事業	360万円
民生費 (18.2%) 7億1,803万円	
生活支援体制整備事業	1,200万円
児童手当事業経費	4,347万円
デイサービスセンター浴槽等修繕	640万円
認定こども園子育て支援事業	432万円
認定こども園運営事業経費	6,946万円
土木費 (9.2%) 3億6,308万円	
道路維持補修事業（待避所設置等）	895万円
国土強靭化事業（町道天白川向線防災）	5,400万円
橋梁定期点検長寿命化事業（50橋）	4,600万円
橋梁維持経費（阿弥陀橋他3橋）	3,100万円
道路新設改良事業（坂の下線・本谷線）	2,907万円
リニア中央新幹線関連事業（富貴畠線）	2,230万円
町道舗装事業（戸場線）	1,580万円
河川整備事業（下の沢）	843万円
町営・公営住宅改修（神戸ハイツ、上仲団地）	1,001万円
教育費 (13.4%) 5億2,862万円	
小中学校給食費補助	1,135万円
公用車両購入（ワゴン2台）	900万円
中学校ガスバルクタンク更新	510万円
蘇南高校支援事業	652万円
グラウンド照明LED化事業	2,800万円
案内看板整備事業	1,200万円
妻籠宿防災施設改修事業	7,600万円
重要伝統的建造物群保存事業	1,509万円
農林水産業費 (6.8%) 2億6,711万円	
中山間地域直接支払制度交付金	3,532万円
農業振興貸付金	500万円
多面的機能支払交付金	605万円
町単ほ場整備事業	390万円
国土調査事業	1,414万円
林道秋葉山線改良工事	2,126万円
林道橋梁点検調査委託料	420万円
有害鳥獣対策事業（実施隊等）	733万円
森林經營管理事業（広域連携負担金等）	2,900万円
森林病害虫等防除対策事業	676万円
衛生費 (4.8%) 1億9,117万円	
予防接種事業	1,082万円
母子衛生事業（不妊治療、乳幼児健診、歯科健診等）	695万円
健診事業（がん・さわやか・いきいき等）	1,334万円
美しいまちづくり・ポイ捨て監視事業	212万円
商工費 (3.7%) 1億4,582万円	
南木曽駅運営経費	424万円
企業振興事業（振興資金貸付預託金等）	2,927万円
観光協会補助金	1,000万円
新型コロナウイルス感染症関連制度資金利子補給	500万円
観光施設整備事業（田立の滝登山道等）	2,637万円
妻籠宿駐車場管理費	2,029万円
消防費 (1.7%) 6,726万円	
消防団運営経費	3,486万円
軽積載車購入3台	2,497万円
地域防災計画作成委託料	78万円

少子化・
定住化対策を
積極的に
推進します！

公債費 (12.9%)
5億700万円

歳出
内訳

その他 (1.6%) 6,423万円
 - 議会費 3,533万円
 - 予備費 2,593万円
 - 労働費 297万円

令和6年度

施政方針（要旨）

2月26日の3月定例議会冒頭での町長による施政方針演説です。
※抜粋または一部要約して記載しました。全文は
町ホームページで見ることができます。



はじめに

誰もがくつろぎ、心穏やかに過ごしていた一年の最初の日に大地震が発生するという、まさに想定外の幕開けとなりました。改めて亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い復興と安らぎの日々が訪れる事を願い、私たちにも出来る時に出来る支援を行っていきたいと考えるところであります。また改めて、自然の厳しさ恐ろしさを感じると同時に、いつどこで何が起きるかわからない事を痛感させられるものです。しかし、よく考えてみれば、「ある日突然」ということはこれまでも経験してきました。例えば、平成26年の御嶽噴火。休日の秋晴れのお昼時の噴火も私たちにすれば突然のことでした。自

然界のみならず、人の世でも突然の出来事はままあるもので、今回のイスラエルとガザの紛争も「ある日突然」に再燃しました。

災害や紛争といった状況では突然に始まるることは珍しくないのかも知れませんが、私たちの日常生活では段階的に進んだり予測される中で起きていくものもたくさんあります。行政では突発的な災害や万が一の有事に備える一面は当然必要ですが、通常は見通しを立てながら施策を進めることが一般的です。人口減少対策などはまさにその典型ですが、徐々に進むことや一定の予測に対処していくには、原因に対応する事、それも早い段階で適切な対策を講ずることが効果的である事は言うまでもありません。町の諸課題も早い内に処方を進めて解

決に向かわなければなりませんが、先ずは現状を正しく分析し、必要とあらば要因に対して手立てを整え実行していく効果が出る時もあれば、継続して対策を打つ場合、或いは方法を変える場合など色々なやり方もあるうかとは思いますが、何はともあれ課題に向き合う事が肝要です。町の現状に向き合い対応すべく令和6年度施政方針を定めましたので、町総合計画に照らし合わせながら説明を申し上げます。

国の動向と町予算

(中略)

南木曽町の令和6年度当初予算については、4月に町長・議会議員選挙を控えていたこともあり、骨格予算編成を基本としながら町の実施計

画にある財政計画、地方債計画及び各種事業計画に基づいて編成作業にあたりました。歳入においては、税収での予算となりました。減額の主たる原因是、木曽寮建設完了に伴う木曽広域連合の分担金の大幅な減額によるものです。

万円となり、前年度比1億5,300万円、3.7%減の予算となりました。減額の結果、令和6年度一般会計0・1%の減、地方交付税0・3%の伸びを見込み、なお不足する財源確保のために過疎債を中心とする起債発行とふるさと寄付金の運用、加えて財政調整基金、減債基金など基金活用を計画しました。



歳出においては、第10次総合計画をはじめ地方創生総合戦略などをもとに策定された実施計画の各種事業について、可能な限り当初予算に計上することで、町の重点施策である移住定住対策や子育て支援事業などの人口減少対策に引き続き取り組んでいきます。このほか主なものとしては、府内電算システム改修、地域バス運行、社会保障・福祉介護・子育て関連、木曽広域連合負担金・分担金、特別会計・事業会計への操出金、森林經營事業、学校給食経費、備事業、町道・橋梁等改良事業、学校教育・学校給食経費、街並み環境整備事業などに係る諸経費を計上しました。この結果、令和6年度一般会計の予算総額は39億4,500万円、前年度比約2.6%増となりました。公営企業会計の簡易水道、下水道、農業集落排水、浄化槽の事業4会計は、業務活動・

投資活動とともに前年度に比べ予算是増加傾向となつていますが、経営戦略策定委託料などが減額となり、料金収入の見込みなどから一般会計からの繰入金は4会計合計で約1億9,200万円と対前年度比16・8%の減となっています。

定住化から元気を (みんなが住みよい・ 元気とうるおいのあるまちづくり)

あの梨子沢蛇抜け災害から10年。多くの関係機関や心ある皆様方に支えられて通常の生活が戻つてきました。あの災害を防災のための礎となるながら、安心して暮らせる町づくりを目指していく覚悟は今もって変わりません。

限られた財源を効率的で効果的に活用し、適切な事業効果を図りながら住民の安心で安全な暮らしの下支えとなるよう、確実かつ持続可能な財政運営に努めることを念頭に各種施策を進めてまいります。

事前の防災態勢に留意するとともに、発生時における円滑な避難の確保及び迅速な救助に関することなど、地震防災対策の推進に取り組んでいます。梨子沢災害を教訓として構えを新たにするべく、10周年を節目とする追悼行事を学校の協力も得ながら計画していくほか、町内公共施設等への災害備蓄品の更なる充実・配備に係る経費について予算計上するとともに、地域防災活動の要となる消防団員の待遇改善として、報酬額の引き上げに要する経費を計上しました。水害や地震対策など懸念される事項は多々あります、國土強靱化に向けて、防災活動の要となるための取り組みを議会・地域とも一層実現してきましたが、今後も経験値以上の大雨・豪雨や大型台風などによる被害想定もされることから、常に備えを怠らない努力が欠かせません。また、能登半島での大地震では震度7という揺れによる被害とともに、地形的な制約が速やかな救助復興を妨げます。気象情報や行政情報をいち早く的確に伝えるために、これまでも防災無線やCATV音声告知端末の整備を行つてきましたが、こうした情報基盤をもとに、さらに最新のDX・ICT技術を活用しながら、道路や河川の定点カメラの映像をケーブルテレビで伝える試みを、木曽広域連合とともに早期実用化を目指します。



南木曽町では地形・地勢的な条件からこれまで多くの災害を経験してきましたが、今後も経験値以上の大雨・豪雨や大型台風などによる被害想定もされることから、常に備えを怠らない努力が欠かせません。多くの関係機関や心ある皆様方に支えられて通常の生活が戻つてきました。あの災害を防災のための礎となるながら、安心して暮らせる町づくりを目指していく覚悟は今もって変わりません。

あの梨子沢蛇抜け災害から10年。多くの関係機関や心ある皆様方に支えられて通常の生活が戻つてきました。あの災害を防災のための礎となるながら、安心して暮らせる町づくりを目指していく覚悟は今もって変わりません。

事前の防災態勢に留意するとともに、発生時における円滑な避難の確保及び迅速な救助に関することなど、地震防災対策の推進に取り組んでいます。梨子沢災害を教訓として構えを新たにするべく、10周年を節目とする追悼行事を学校の協力も得ながら計画していくほか、町内公共施設等への災害備蓄品の更なる充実・配備に係る経費について予算計上するとともに、地域防災活動の要となる消防団員の待遇改善として、報酬額の引き上げに要する経費を計上しました。水害や地震対策など懸念される事項は多々あります、國土強靱化に向けて、防災活動の要となるための取り組みを議会・地域とも一層実現してきましたが、今後も経験値以上の大雨・豪雨や大型台風などによる被害想定もされることから、常に備えを怠らない努力が欠かせません。また、能登半島での大地震では震度7という揺れによる被害とともに、地形的な制約が速やかな救助復興を妨げます。気象情報や行政情報をいち早く的確に伝えるために、これまでも防災無線やCATV音声告知端末の整備を行つてきましたが、こうした情報基盤をもとに、さらに最新のDX・ICT技術を活用しながら、道路や河川の定点カメラの映像をケーブルテレビで伝える試みを、木曽広域連合とともに早期実用化を目指します。

南木曽町では地形・地勢的な条件からこれまで多くの災害を経験してきましたが、今後も経験値以上の大雨・豪雨や大型台風などによる被害想定もされることから、常に備えを怠らない努力が欠かせません。多くの関係機関や心ある皆様方に支えられて通常の生活が戻つてきました。あの災害を防災のための礎となるながら、安心して暮らせる町づくりを目指していく覚悟は今もって変わりません。

昨年、国道19号の賤母雨量規制区間の基準を長野県側が先行して150ミリから210ミリに引き上げられました。60ミリもの基準緩和に当面は規制がないのではないかといった淡い期待も裏切れ、昨年5月6月と2度も大雨で通行止めとなり、町内の交通が寸断されて大きな影響を受けました。このことからも、県境の道路事情改良のため、県境の道路事情改良のため、防災活動の要となる消防団員の待遇改善として、報酬額の引き上げに要する経費を計上しました。水害や地震対策など懸念される事項は多々あります、國土強靱化に向けて、防災活動の要となるための取り組みを議会・地域とも一層実現してきましたが、今後も経験値以上の大雨・豪雨や大型台風などによる被害想定もされることから、常に備えを怠らない努力が欠かせません。また、能登半島での大地震では震度7という揺れによる被害とともに、地形的な制約が速やかな救助復興を妨げます。気象情報や行政情報をいち早く的確に伝えるために、これまでも防災無線やCATV音声告知端末の整備を行つてきましたが、こうした情報基盤をもとに、さらに最新のDX・ICT技術を活用しながら、道路や河川の定点カメラの映像をケーブルテレビで伝える試みを、木曽広域連合とともに早期実用化を目指します。



開業が観光客の流れを呼び込む起爆剤ともなりうることから、広域観光を推進するうえで中津川南木曽線の整備も重要な要素になります。また右岸道路では大桑村境のトンネル工事や高瀬橋架け替え工事といった大型工事が本格化することでの町としての対応や、路線未確定区間のルート案策定に向けた取り組みを木曽建設事務所と連携を取りながら進めています。生活基盤の基本的インフラである国道・県道の主要幹線道路について、国道256号も含めて、引き続き整備促進に向けた要望活動を引き続き郡内同盟会や中津川市と連携しながら推進していきます。また、迂回路に苦労する県境区間はじめ、木曽川右岸道路全区間をめ、木曽川右岸道路全区間をダブルネットワーク化が図られるよう国や県へ働き掛けています。生活圏でもある東濃地域との往来をスマートにすることは、リニア中央新幹線や神坂スマートインターチェンジ(仮称)開通後の町づくりを促進する上で最も重要です。リニア新幹線では車両基地による新たな産業や企業の誘致が見込まれることから、定住化促進の観点から通勤圏の拡大を図るために国道19号や主要地方道中津川田立線の整備は欠かせないものとなっていますし、神坂スマートインターチェンジ

動を積極的に展開していきます。

町道については、地域にとって長年の懸案であった妻籠町中線の美化工事が進められています。また、地元要望の強い富貴畑線や本谷線の改良工事を計画的に進めていきます。富貴畑線については、リニア新幹線工事の発生土活用との絡みもあるため、地元やJR、事業体などと早めに綿密な協議の上、JR側と協定を締結した上で施工を進めています。ほかにも県代行工事による高瀬橋架け替えにあわせた坂の下線交差点改良計画について国交省やJRと継続協議していくとともに、天白川向線の防災工事、戸場線の舗装工事、前沢橋や島の橋などの橋梁修繕工事、ならびに橋梁定期点検長寿命化計画等にかかる設計委託費について予算計上しました。



簡易水道事業会計にはJRからの補償費2億2,800万円を財源として必要な工事請負費など関連予算を計上しました。発生土置場については引き続きJRとの交渉窓口や地元調整に関わり、協議会とともにリスク削減と地域の不安を解消するための対応に努めています。町独自の水文調査の一環として、町内6か所の水量調査分析業務に要する経費を計上しました。また、リニア開業後を見据えた町づくりに向けたプランを立てていかねばなりませんが、そのためにも「南木曽町リニア活用基本構想」を基軸とした町

づくりに向けて、実効性ある施策や事業に結び付くよう「リニア活用検討委員会」による協議を進めていきます。

若い人や移住で土地を探している人達の声に応えるためにも、田立元組地区のミニ宅造事業をスピードアップさせて、年度内の分譲を目指しています。既に基本的な用地交渉を終えて、概略設計の段階となっていますので早い段階から工事にかかるよう準備を進めていきます。また空き家を町が家主から一定期間借り上げて整備したうえで、移住定住用住宅として貸し出す事業を戸場・下切地区で実施するための改修工事費を計上しました。

インバウンドの復活。昨年春から一気に外国人旅行者の姿を見かけるようになります。さらにインバウンドの受け入れ態勢を充実させるために、農泊推進協議会を活用し重点地域指定に向けた取り組みを進めます。また、インバウンドに合わせて国内旅行客も見据えながら、コロナ後に向けて取り組んできたコンテンツ開発事業などをベースに、

リニア中央新幹線工事関連については、水環境の保全と上水道の予備的措置が適切なものとなるようJRとの協議を継続するとともに、水道工事については協議が整った箇所から施工する見込みとし、

インバウンドの復活。昨年春から一気に外国人旅行者の姿を見かけるようになります。さらにインバウンドの受け入れ態勢を充実させるために、農泊推進協議会を活用し重点地域指定に向けた取り組みを進めます。また、インバウンドに合わせて国内旅行客も見据えながら、コロナ後に向けて取り組んできたコンテンツ開発事業などをベースに、

づくりに向けて、実効性ある施策や事業に結び付くよう「リニア活用検討委員会」による協議を進めていきます。

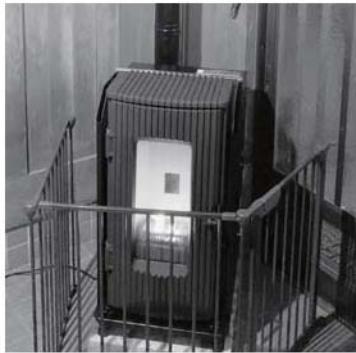
若い人や移住で土地を探している人達の声に応えるためにも、田立元組地区のミニ宅造事業をスピードアップさせて、年度内の分譲を目指しています。既に基本的な用地交渉を終えて、概略設計の段階となっていますので早い段階から工事にかかるよう準備を進めていきます。また空き家を町が家主から一定期間借り上げて整備したうえで、移住定住用住宅として貸し出す事業を戸場・下切地区で実施するための改修工事費を計上しました。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症への対応方法が変わったことにより、徐々に以前の生活が戻りつつあります。

農業従事者の高齢化や後継者不足から耕作放棄地が増え、有害鳥獣に悩まされ生産量が減少しています。地域の農業を守らねば地域そのものが衰退し、消滅の危機にさらされてしまします。高齢化や兼業化の一助となるべく、省力化や集約化を進められるよう

今後とも積極的な誘客活動を進めていかねばなりません。日本遺産活性化協議会はじめ、新たに設立された「中津川・塩尻・木曽・下伊那広域連携SDGs推進協議会」などと連携しながら、リニア時代に備えたスローツーリズム構築事業を補助事業も活用しながら推進していきます。広域的に取り組みとともに、観光協会はじめ関連団体とも連携を密にしながら受け入れ態勢の整備事業としては、街なり環境整備事業による妻籠宿案内板設置工事のほか田立の滝登山道整備工事と、かぶと観音公衆トイレ設置工事費を計上しました。

農業従事者の高齢化や後継者不足から耕作放棄地が増え、有害鳥獣に悩まされ生産量が減少しています。地域の農業を守らねば地域そのものが衰退し、消滅の危機にさらされてしまします。高齢化や兼業化の一助となるべく、省力化や集約化を進められるよう



昨年は、全国的に熊が人を襲う被害が続出しました。町内でもこれまでに人身事故がたびたび起きていることを考えれば、鳥獣保護計画は地域の人の暮らしを見据えたうえで定められるべきものです。人身事故をゼロにするためにも、県が定める鳥獣保護計画については、ゾーニングによる被害防止策を訴えています。また町内全域で農作物被害をもたらしている有害鳥獣の駆除については、獵友会と連携し、協力体制のもと

農業委員会やJAとも連携し取り組みを進めます。傷んだ圃場の小規模修理を目的とした町単独の耕作条件改善事業を継続して運用するとともに、パイプハウスなどの農業設備に対する設置補助を予定しました。

に登録費などの各種助成を行なながら、会員の確保と実効性ある活動に向けた取り組みを支援していきます。森林經營管理制度がいよいよ本格的に稼働します。譲与税配分基準の見直しも行われる中、譲与税を活用しての広域連合と共にで進める森林整備事業にあわせて、木育への活用、資源活用につながる薪ストーブ・ペレットストーブ補助制度、担い手育成支援、民有林内の路網整備、山林所有者のチエーンソー取り扱い講習会など独自制度も実施しながら林業振興に努めています。また林道秋葉山線の改良工事については、最終年度と位置付けて完了を目指します。

元気に育てなごそつ子 (子ども・保護者・ 若者を応援する 環境づくり)



国・県ともに少子化対策の一環として、子育てや教育への支援強化策を打ち出しています。町としても、新たな補助制度や借入制度などで利用できる制度は活用しながらつながる学習支援ソフトなどの助成をするとともに、本格的なICT・デジタル化社会に必要な環境整備を整えられます。町を中心には、「南木曽町教育大綱」の見直しを進めています。そこでも生徒数の減少が著しい蘇南高校については、1学年1学級を前提とした小規模高校のあり方について、学校や同窓会などと研究を深めています。一方、コロナ禍で延期になつた海外での学習活動が再開され、この3月3日から12日まで生徒12名がカナダのバンクーバーを訪問します。町では、継続して地元市町村協議

園未満児受け入れ条件の緩和策、学校に通いづらい子どもたちの受け入れ体制の整備など、今必要なこと、困っていることなどについて調査や意見を聞きながら、第3次となる「南木曽町子ども子育て支援事業計画」を策定する中で、検討を進めて取りかかっています。また子ども達の意見を聞く場も設け、子ども自身が南木曽のことや地域のことを考えて行動できるような取り組みを進めていきます。小中学校とも連絡を取り合う中で、具体的な計画を立てて「ふるさと教育」となるよう準備を進めていきます。また引き続きタブレット端末の利用により効果的な活用につながる学習支援ソフトなどの助成をするとともに、本格的なICT・デジタル化社会に必要な環境整備を整えられるよう努力ていきます。また対外的に食が弱いと言われる南木曽ですが、自慢のお土産・特産品となるよう、えごま、陸(おか)ワサビ、自然薯などの開発に頑張る皆さんを応援していきます。

急速な少子化により郡内で

园未満児受け入れ条件の緩和策、学校に通いづらい子どもたちの受け入れ体制の整備など、今必要なこと、困っていることなどについて調査や意見を聞きながら、第3次となる「南木曽町子ども子育て支援事業計画」を策定する中で、検討を進めて取りかかっています。また子ども達の意見を聞く場も設け、子ども自身が南木曽のことや地域のことを考えて行動できるような取り組みを進めていきます。小中学校とも連絡を取り合う中で、具体的な計画を立てて「ふるさと教育」となるよう準備を進めていきます。また引き続きタブレット端末の利用により効果的な活用につながる学習支援ソフトなどの助成をするとともに、本格的なICT・デジタル化社会に必要な環境整備を整えられるよう努力ていきます。また対外的に食が弱いと言われる南木曽ですが、自慢のお土産・特産品となるよう、えごま、陸(おか)ワサビ、自然薯などの開発に頑張る皆さんを応援していきます。

园未満児受け入れ条件の緩和策、学校に通いづらい子どもたちの受け入れ体制の整備など、今必要なこと、困っていることなどについて調査や意見を聞きながら、第3次となる「南木曽町子ども子育て支援事業計画」を策定する中で、検討を進めて取りかかっています。また子ども達の意見を聞く場も設け、子ども自身が南木曽のことや地域のことを考えて行動できるような取り組みを進めていきます。小中学校とも連絡を取り合う中で、具体的な計画を立てて「ふるさと教育」となるよう準備を進めていきます。また引き続きタブレット端末の利用により効果的な活用につながる学習支援ソフトなどの助成をするとともに、本格的なICT・デジタル化社会に必要な環境整備を整えられるよう努力ていきます。また対外的に食が弱いと言われる南木曽ですが、自慢のお土産・特産品となるよう、えごま、陸(おか)ワサビ、自然薯などの開発に頑張る皆さんを応援していきます。



会や同窓会を通じた助成制度を続けていきます。また、連携協定を結んでいる名城大学や名古屋外国語大学とも交流を深めて、地域の活性化や刺激策につながればと考えところでです。

各地で地域おこし協力隊が活躍するニュースを耳にするようになりました。わが町の協力隊も定住・起業してくれた人もあり、頑張ってくれています。各自得意とする分野での活躍を期待し、都市部から町内への移住を促進する意味でも継続して地域おこし協力隊の採用を行っていきます。また、若い人向けに奨学金返済助成制度を創設しましたが、若い人たちの声にも耳を傾けて定住につながる取り組みを増やせるよう努めています。

現在町では数多くの子育て・教育支援策を実施しています。近年は国・県、さらには東京都や大阪府などの大都市でも給付金の支給や学費無償化などの取り組みを始めており、子育て支援が地方だけの取り組みではなくなってきました。子どもを産み育てること、或いは家を構えて暮らすことなどは、人それぞれの事情や考え方の中で進められるものであり、特定の施策だけで人口増に結び付くものではありませんが、様々な要因が絡み合ってだけに施策のひとつと繋がれば、出産・子育て、移住・定住のきっかけとなることもあります。ひとつひとつの施策を丁寧に根気強く進めながら、子どもの声が響く元気あふれる町づくりを目指してまいります。

健康で元気な ハッピーライフ (人生を豊かにする 健康・スポーツ・ 文化のまちづくり)



「気つけば40年、信頼築いた」先日の中日新聞に掲載された坂下診療所の高山哲夫先生の記事の見出しだけで、中津川市が進める民間事業者による経営計画については、南木曾町としては計画が進むこと

り対策会議を開催するなどして、町民に的確な情報と感染防止対策を呼びかけながら社会経済活動の維持に努めます。また、まだ感染拡大や重症化の可能性も残されていることは補正予算段階で検討を進めています。

季節性インフルエンザ同様のウイルス感染症も、感染症法上の位置付けが2類相当から5類相当に移行されました。令和3年から始まったワクチン接種も令和5年度末をもって公費負担接種が終了となり、令和6年4月以降は自己負担による接種となります。位置付けが変わったとしても、流行の再拡大や重症化への不安新たな変異株などが懸念されることはから、今後も必要によ

りも注視しながら、両院や中津川市などとの連絡体制を密にして医療体制の充実に努めます。

職員不足と高齢化、利用者の地域的な偏り、施設の老朽化といった課題に苦慮する木曽あすなろ荘では、利用定員を減少して可能な運営にあたっています。松塩筑木曾老人福祉施設組合では、今後は第6次基本計画を定める中であすなろ荘の在り方を明確にする方針を示していることからも、町や地域の考え方を引

き続き伝えるとともに、早い時期から具体的な方向性を共有できるよう協議を進めていきます。所長を継続派遣することで人的支援にも取り組んでいます。市民病院への公共交通については、県の公共交通バスについては、県の公共交通計画に位置付けてもらえることを見込みになっていますので、見込みになっていますので、出来るだけ早く計画を策定してもらいたいと考えます。町勢を築きたいと考へます。町の大切なお医者さんと大切な歯医者さん。引き続き町として出来る支援策を続け、地域医療支援事業など町独自制度を活用しながら信頼関係の構築に努めています。また木曽病院や中津川市民病院の動向も注視しながら、両院や中津川市などとの連絡体制を密にして医療体制の充実に努めます。

町では「健診受けようキャンペーン」の効果もあって健診受診率が県内市町村でトップファイブに入る好成績が続いているいます。それに伴う保健指導の効果も出はじめ、検診を通じた早期発見・早期治療や介護予防などにより、町民の健康管理において一定の成果が見られる状況となっています。新年度も3歳時健診での視覚検査機器導入はじめ各種検診を積極的に進めながら、一人一人が自分の健康に関心を持ち、どの世代も健康でその人らしい生活と誰もが安心

して暮らせる社会を目標として、南木曽町健康づくり計画を見直しながら各種事業、施策を進めていきます。

高齢化にともなって公共交通への依存度が年々高まっています。しかしながら、南木曽町の地理的な条件や交通事業者の運転手不足も相まって、思うような交通手段の確保が難しい状況となっています。年数回の公共交通会議を開催して、利用者の声をもとにバスの運行経路の変更やデマンドタクシーの一部導入などを実施してきました。地形的制約、交通事業者的人材確保、利用者の実情、予算面など多くの課題はありますが、会議での意見交換や新たな提言にも理解を得ながら、随時公共交通計画を見直して地域の足の確保と利用者の要請に応えられるよう努めています。

アフターコロナの時代となり、通常の会議や行事はもちろんのこと、従前の社会活動を復活させていかねばなりません。地域の行事や公民館、チャレンジクラブ、妻籠健康マラソンなどにおいても、町として可能な協力や支援を行なうながら、地域コミュニティや人とのつながり・絆を取り戻していきます。生涯学習活動や公民館活動を軸にスポーツ・文化など各種団体の活動を推進するとともに、社会教育施設の各種整備を進めたり、上水道や水洗化の普及率が他の自治体より低い傾向にあります。小規模（こきぼ）水道施設や個人水道施設について、子どもたちの移動を支援するミニバンを購入活用しています。総合グラウンド夜間照明LED化にかかる設置委託費や中学校校庭の夜間照明LED化工事など、実施を惜しません。町営の簡水施設、下水道、農業集落排水や浄化槽などについては、維持管理費がかさんでいることからも、光熱水費など経常経費の節減、計画的な施設改修と維持管理に努めています。



計画に基づいた事業を予算計上しました。また築45年を超えた南木曽会館。中央公民館としての機能は当然ながら、親子ふれあい公園などの他の子育て施設や他の福祉施設との複合施設などの可能性も含めながら、更には総合グラウンドや旧テニスコートなど有効な土地利用の面からも、できるだけ早いうちに基本的な考え方と方向性を示していく必要があります。町の真ん中の地区にある総合的なコミュニティーエリアとして計画概要をまとめていきます。

街みな環境整備事業を導入している妻籠地区においては、継続工事として妻籠宿防災管の更新工事や町道妻籠町中線美装化工事などを、地元と連絡調整を取りながら計画的に実施していきます。妻籠宿保存事業についても、妻籠を愛する会や保存審議会にも諮りながら、保存家屋の復元・修理工事を計画に従って進めていきます。南木曽町博物館については、魅力ある案内が継続できるよう積極的に人材の確保に努めるとともに、外国人観光客に対応するシステムの導入の検討、本陣を活用した特別展等の開催など、町民の皆さんにも利用しやすい身近な博物館を目指します。また、国指定文化財である近代化遺産の桃介橋・柿其水路橋・読書発電所が完成した大正12年から満100年を迎えていることを記念して、河川公園組合と協力しながら近代化遺産100周年記念行事を計画していきます。

町では地形的な事情から、上水道や水洗化の普及率が他の自治体より低い傾向にあります。小規模（こきぼ）水道施設や個人水道施設について、子どもたちの移動を支援するミニバンを購入活用しています。総合グラウンド夜間照明LED化にかかる設置委託費や中学校校庭の夜間照明LED化工事など、実施しながら施設の維持管理や改

**もつとみんなが元気で主役のまちづくり
(協働でつくる健全財政のまちづくり)**

D X（デジタル・トランスフォーメーション）があらゆる分野で急速に進展しています。通信環境の飛躍的な進歩、AIの活用、自動運転システムなどにより、まだまだ生活環境が目まぐるしく変わっています。いくことが予測されます。木曽管内でも光回線が整備されたことからも、木曽病院と上松町で遠隔診療の実証実験が始まりました。WEB会議やペーパーレス会議が現実のものとなっていることから、必要な条件整備に努めています。

地球環境を守るためにも脱炭素化などの取り組みが求められています。法律が定める「地球温暖化対策実行計画」により、温室ガス排出量の抑制に努めて公共団体としての責務を果たすとともに、公共施設への自然エネルギーの導入、資源の有効活用などにも目を向けられるよう計画の見直しを進めながら行動を進めています。また持続可能な

目標を定めたSDGsについても、理解を深められるような取り組みを機会を捉えながら進めます。世の中の変わりよう、例えばジエンダーやダイバーシティ社会への対応、男女共同参画社会の実現に向けた一人一人の理解を深めるとともに、組織的な取り組みとともに、組織的な取り組みともなるよう各種計画を適時見直しながら必要な対応を進めていきます。

役場庁舎も建設後40年となりました。今後とも町民が親しみやすく利用しやすい雰囲気の役場となるように、あわせて職員が気持ちよく働きやすい職場としていくためにも、府内での席の配置や仕組みなどについて検討を進めながらイメージアップに努めていきます。一方で公務員としての町職員の資質を確保し、魅力ある職場となるよう努めるとともに、定期的な研修によりコンプライアンス順守と公務員倫理の徹底を図りながら適正な事務執行を行っていきます。



町民の皆さんと一緒に町づくりを行っていくために、町の状況や予定している施策を絶えず理解してもらうことが必要不可欠です。広報誌や広報無線、ケーブルテレビの文字放送、ホームページなど様々な媒体を用いた情報の発信と共有が重要なだけに、わかりやすい紙面や放送となるような研修工夫や、利用しやすいホームページに向けた改善を進めていきます。町民の意見や声を聞く場としての町政報告会はじめ、必要な会議や説明会などを隨時開催しています。高齢化や人口減少が続いていくことに変わりはありません。過疎債など有利な起債も希望自治体が満杯であります。高齢化や人口減少に伴う地域内での役職の負担減を求める声に応えて、防犯協会などの見直しを進めてきていますが、さらに幾つかの

国においては地方財政への一定の予算額が維持されたものの、社会保障費や少子化対策、国防、頻発する大災害への対応など、厳しい財政状況が続いていくことに変わりはありません。過疎債など有利な起債も希望自治体が満杯であります。高齢化や人口減少が続いていることから、令和6年度も大変

厳しい見込みとなっています。さらに交付税はじめ各種補助金などの削減や、人口減や事業所の減少に伴う税収減も見込まれ、今後とも町の財政運営は一層厳しさを増すものと思われます。最小で最大の効果が得られるように、規律ある財政計画と計画的な事業執行に努めてまいります。

声を受け止めながら

「失われた30年」という言葉に代表されるように、国内ではバブル崩壊後に経済成長は止まつたままとなり、世界における主要施策の柱となる第11次総合計画について、地方創生総合戦略と併せ策定を進めしていく予定ですが、いずれにしても町が持続的に維持

で言われ豊かさを実感したはずだった暮らしごとくも、いつしか知らずの内に経済格差が当たり前になってしまった。コロナ禍も加わり先の見通せないモヤモヤとした時間ばかりが続なってしまいました。コロナ禍も加わり先の見通せないモヤモヤとした時間ばかりが続なっていましたが、昨年来のデフレ脱却の動きの中には、新たなフェイズを感じさせる何かしらの希望も見え隠れする世相となっていました。

町には人口減少問題を筆頭に、少子化高齢化への対応・移住定住の促進・地域経済の

発展できるよう準備を進めていかねばなりません。

以上、令和6年度当初予算を上程するにあたり、町政運営の基本方針と予算概要など施政の一端を申し述べました。

立直し・地場産業や商店事業所の後継者確保と人材確保・医療福祉の確保・空き家対策と集落維持のための対策・農地林地荒廃防止対策と農林業振興・防災減災と国土強制化・鳥獣害対策・交通弱者対策・リニアへの対応と新たな町づくり・SDGsや脱炭素社会への取り組みなど書き切れない程の課題がありますが、急激に人口減少が進む今、立ち止まり嘆いている暇はありません。どんな課題にも正面から向き合い、出来るところから行動していかねばなりません。

4月には町長選挙・議会選挙が予定されることから、町内での町政に対する意識や関心が高まり、活発な議論や提言が行われることが期待されます。そうした声を町執行部も議会の皆さんもしっかりと受け止めながら、町民の皆さんとともに「住んで良かった、暮らして良かった、住むなら南木曽町」と言える町を目指して歩んでいこうではありませんか。すべての皆さんのご理解ご協力をお願い申し上げて、令和6年度の施政方針とさせて頂きます。

南木曽町上下水道事業会計当初予算

地方公営企業法を適用した、令和6年度南木曽町上下水道事業会計の予算は以下のとおりです。公営企業会計では料金収入や軽微な施設修繕費等が分類される「損益取引（収益的収支）」と、銀行や国からの借入資金や大規模な施設修繕費等が分類される「資本取引（資本的収支）」に分けて経理を行います。またキャッシュ・フローは、公営企業が保有する預金の残高を表しています。

簡易水道事業（単位：千円）

損益計算	収益的収支	資本的収支	期末残高	保有資産合計	キャッシュ・フロー
収入	369,035	323,954	令和5年度末	2,240,851	61,452
支出	364,961	392,587	令和6年度末	2,429,765	63,061
収支差引	4,074	△ 68,633	増 減	188,914	1,609

※リニア建設関連水道水源対策事業により水道施設等の建設をするため、令和6年度末の保有資産は増加します。

【補足】資本的収支は赤字となっていますが、これは減価償却費といった現金支出を伴わない経費で補填でき、この赤字が現金預金の不足を表すものではありません。

特定環境保全公共下水道事業（単位：千円）

損益計算	収益的収支	資本的収支	期末残高	保有資産合計	キャッシュ・フロー
収入	70,701	30,400	令和5年度末	622,870	4,240
支出	51,701	60,971	令和6年度末	612,502	4,551
収支差引	19,000	△ 30,571	増 減	△ 10,368	311

農業集落排水事業（単位：千円）

損益計算	収益的収支	資本的収支	期末残高	保有資産合計	キャッシュ・フロー
収入	79,922	24,400	令和5年度末	1,110,269	9,649
支出	62,022	55,915	令和6年度末	1,075,334	9,700
収支差引	17,900	△ 31,515	増 減	△ 34,935	51

浄化槽市町村整備推進事業（単位：千円）

損益計算	収益的収支	資本的収支	期末残高	保有資産合計	キャッシュ・フロー
収入	121,091	32,705	令和5年度末	581,428	17,441
支出	118,991	49,984	令和6年度末	568,004	18,145
収支差引	2,100	△ 17,279	増 減	△ 13,424	704

※下水3事業においては、下水道処理施設の建設や大規模な施設改修を令和6年度に予定していないため、各事業の保有資産は減価償却により減少します。なお減価償却とは、固定資産の購入費用を使用可能な期間にわたって、分割して費用計上することをいいます。

令和5年度 電源立地地域対策交付金事業

担当
総合戦略係

電源立地地域対策交付金は、発電施設が設置される市町村に対して昭和56年から毎年交付されている交付金です。当町ではコミュニティ事業や生活環境整備などに役立てており、令和5年度は次の2事業を行いました。

令和6年度は認定こども園運営事業の実施を予定しています。運営事業、消防積載車購入事業の実施を行いました。

事業費 交付金	認定こども園運営事業 事業費 交付金
8,500千円	23,070千円

■ 総合福祉センター西側
ボイラーエquipment等改修工事
事業費
交付金
8,500千円



令和6・7年度の保険料率が決まりました

後期高齢者医療制度のお知らせです

担当 住民係／長野県後期高齢者医療広域連合
☎ 026-229-5320

後期高齢者医療制度の保険料率は、医療給付費等を推計して2年ごとに見直されます。長野県における令和6・7年度保険料率は、後期高齢者の増加や医療費の伸びに加え、現役世代の負担を抑えるための国の制度改正により、次とおり増額改定することになりました。お一人ひとりの保険料額は6月下旬に決定し、7月以降に決定通知書によりお知らせします。

	令和4・5年度	令和6・7年度
均等割額	40,907円	44,365円
所得割率	8.43%	9.45% *1
賦課限度額	66万円	80万円 *2

*1 令和6年度は、基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の場合は8.56%

*2 令和6年度は、昭和24年3月31日以前に生まれた方、障害認定の方は73万円

$$\text{均等割額 } 44,365\text{円} + \text{所得割額 } (\text{所得} - 43\text{万円}) \times 9.45\% \text{または } 8.56\% = \text{年間保険料額 } \begin{cases} \text{限度額は } 80\text{万円} \\ \text{または } 73\text{万円} \end{cases}$$

制度改正の内容

後期高齢者負担率の見直し
(高齢者の保険料の伸びを現役世代の支援金の伸びに合わせる見直し)

後期高齢者医療における医療費の負担割合は、後期高齢者負担率によって定められています。後期高齢者の医療給付費を後期高齢者と現役世代で公平に支え合うため、「後期高齢者一人当たりの保険料」と「現役世代一人当たりの後期高齢者支援金」の伸び率が同じになるように後期高齢者負担率が設定されます。

①収入にかかわらずご負担いただく定額部分(均等割)のみを負担する約6割の方(年金収入153万円相当以下の方)については、制度見直しに伴う増加はありません。
②収入に応じてご負担いただく定額部分(所得割)は、一定以下の収入の方(年金収入153万円～211万円相当の方)を対象に、令和6年度は制度見直しに伴う増加はありません。

③年収約1,000万円を超える方を対象とする保険料負担の年間上限額(賦課限度額)は、段階的に引き上げられます(令和6年度は73万円、令和7年度は80万円)。

出産育児支援金
(出産育児一時金の費用を後期高齢者も支えていく仕組みの導入)
出産育児一時金の支給費用の一部を、現役世代だけでなく後期高齢者も支えていく仕組みとなります。

保険料の見直しに伴い、激変緩和措置があります。
令和6年度からの制度見直しに伴う、新たなご負担に関しては、

保険料の軽減
保険料の軽減について下表のとおり

※軽減割合については下表のとおり

所得の低い方については、均等割額の軽減措置があります。

世帯内の被保険者と世帯主の前年の総所得金額等を合計した額	軽減割合(軽減後の均等割額)
	令和6・7年度
43万円+10万円×(給与所得者等の数*3-1)以下の場合	7割軽減(13,309円/年)
43万円+(29.5万円×世帯の被保険者数)+10万円×(給与所得者等の数*3-1)以下の場合	5割軽減(22,182円/年)
43万円+(54.5万円×世帯の被保険者数)+10万円×(給与所得者等の数*3-1)以下の場合	2割軽減(35,492円/年)

*3 給与所得者等の数とは、世帯内の被保険者と世帯主のうち、55万円を超える給与収入を有する方の数と公的年金等の収入が125万円(その方が65歳未満の場合は60万円)を超える方の数(給与所得を有する方を除く)の合計をいいます。

国民健康保険税率を改定します

令和6年度から次のとおり
国民健康保険税率を改定しま
す。

	令和6年度国民健康保険税率									(単位: %、円)	
	医療分			後期支援分			介護分				
	応能割	応益割	応能割	応益割	応能割	応益割	応能割	応益割	応能割		
所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	所得割		
改定前	7.20	18,000	21,000	2.44	8,800	6,800	2.76	10,500	7,000		
改定後	7.10	19,000	21,500	2.65	9,400	7,500	2.75	10,400	7,300		

これまでの経過
 国の制度改革により、平成30年度に国保財政が県単位化されました。その後、県では「長野県における国民健康保険運営の中長期的改革方針」に基づき、令和9年度までに二次医療圏単位（木曽郡単位）での保険税率の統一化を達成するため。
 市町村とともに持続可能な保険給付と保険税水準の標準化・統一化を進めています。これにより町では令和3年度に資産割を廃止し、令和4年度から段階的に税率改定を進めています。

具体的には、令和4年度から税率算定に使用している医療費指数を毎年度1/6ずつ二次医療圏数値に置き換えるとともに、毎年度最新の数値を使って令和9年度想定税率を使っています。

改定の主な理由
 「長野県国民健康保険運営方針」及び、「長野県における国民健康保険運営の中長期的な改革方針」に基づき、令和9年度までに二次医療圏単位（木曽郡単位）での保険税率の統一化を達成するため。

改定の手続き
 税率改定については、町から国保運営協議会へ諮詢し、協議会における審議を経て答申をいただきました。これに基づき条例改正案を3月議会に上程し、可決・決定しました。

を算定し、現行税率との差を段階的に解消しています。令和9年度までは毎年度税率改定を予定しています。



答申の様子
松原崇文会長から町長へ提出

担当
住民係

担当：総務係

選挙管理委員会からのお知らせ

選挙管理委員会の新しい委員及び補充員の皆さん、3月定期議会の選挙により決定されましたのでお知らせします。

今後、行われる各種選挙における選挙の適正な執行や明るい選挙の実現にむけた啓発等にご尽力をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

任期：令和6年3月1日～令和10年2月29日

職名	順位	氏名	地区
委員長		下山 昭次さん	南木曾町吾妻尾越
委員長職務代理		小原 悅治さん	南木曾町吾妻口志水
委員		小幡 栄作さん	南木曾町田立下切
委員		中田 佳代さん	南木曾町読書与川一区
補充員	1	新井 新作さん	南木曾町吾妻橋場
補充員	2	小倉芳意智さん	南木曾町田立栗畑
補充員	3	丸野 晃さん	南木曾町読書与川一区
補充員	4	新井利恵子さん	南木曾町読書岩倉

17
日本脳炎予防接種は、平成
17～21年度まで積極的推奨の
差し控えを行っていました。
この間に対象者となっていた
平成7～18年度に生まれた方
は、日本脳炎の予防接種が不
十分になっている可能性があ
ります。

18
この対象者で20歳未満の方
は不足する回数を接種する事
ができます。希望する方には
予診票を交付しますので、母
子手帳を確認の上、5月15日
(火)までに担当係へご連絡くだ
さい。

日本脳炎予防接種の差し控え期間に接種できなかつた方へ

担当
健康しあわせ係

この対象者で20歳未満の方
は不足する回数を接種する事
ができます。希望する方には
予診票を交付しますので、母
子手帳を確認の上、5月15日
(火)までに担当係へご連絡くだ
さい。

ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染症 予防接種に関するお知らせ

担当 健康しあわせ係

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンは、平成25年から積極的勧奨を控えることとされていました。そのため、平成9年度生まれから平成17年度生まれまでの女性の中でも、小学6年から高校1年相当の頃にHPVワクチンの接種の機会を逃した方がいます。

積極的勧奨の差し控え期間に定期接種の対象となつた方でHPVワクチンの接種を逃した方に接種の機会をご提供することとなりました(キャッチアップ接種)。

キャッチアップ接種の期間は今年度までとなつております。ご希望の方は早めに接種をお願いいたします。

1. 対象者

平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性で、接種日時点で南木曽町に住民票のある方かつ、過去にHPVワクチンを合計3回接種していない方

2. 接種方法

担当係までご連絡ください。予診票をお送りします。

県内医療機関は公費での接種ができます。(医療機関やワクチンの種類により一部自己負担が出る場合があります。)県外医療機関は町の基準額を上限として公費にて負担し、上限を超えた場合の差額は自己負担となります。

●過去に自費でHPVワクチン接種(2価、4価)を受けた方については償還払いをおこないます。

対象者
〔左記すべてに当てはまる方〕

- ・平成9年度生まれ～平成17年度生まれの女性。
- ・令和4年4月1日時点で南木曽町に住所のあること。
- ・16歳となる日の属する年度(高1相当)の3月31日までに3回の接種を完了していないこと。
- ・17歳となる日の属する年度(高2相当)の初日から令和3年3月31日までに日本国内でHPVワクチン(2価、4価)の任意接種を受け、実費負担したこと。
- ・償還払いを受けようとする接種回数分について、キャッチアップ接種を受けていること。

高齢者肺炎球菌予防接種は65歳が対象です

担当 健康しあわせ係

「風しん」は、風しんウイルスによっておこる急性の感染症です。

定期予防接種の対象とならなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、女性や他の年代の男性よりも抗体保有率が低く、風しんに感染するリスクが高くなっています。自覚症状が少ないため、気づかない内に周囲の人たちに感染を広げてしまうおそれがありま

す。特に妊娠初期の女性が風

しんに感染すると赤ちゃんが心疾患・白内障・難聴をもつて生まれる可能性があります。未だ抗体検査を受けましょ。に抗体検査を受けましょう。

厚生労働省の「風しんの追加的対策」により、対象となる方には、令和7年2月末まで無料で抗体検査と予防接種券をお届けしています。

まだ抗体検査を受けていない方は、町の健康診査、職場の健康診断(事前に検査機関に確認をお願いします)、医

不明な点などありましたら、担当までお問い合わせ願います。

※クーポンは全国の医療機関で使えます。詳しくは、直接医療機関にご確認ください。

60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する方

(身体障害者手帳1級程度)

は、国が予防接種法で定めた

时限措置により、65歳から5

歳刻みの方を対象としていま

したが、令和6年度からは対

象者が次のとおり変更となり

ます。

は、65歳になりましたら、接種をお願いいたします。

※肺炎球菌とは

肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛沫感染し、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。

肺炎球菌はわが国の死亡原因の第5位となっています。

45歳～62歳の男性の皆さんへ

「風しん抗体検査」は受けましたか?

担当 健康しあわせ係

「風しん」は、風しんウイルスによつておこる急性の感染症です。

定期予防接種の対象とならなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生

まれた男性は、女性や他の年代の男性よりも抗体保有率が低く、風しんに感染するリスクが高くなっています。自覚症状が少ないため、気づかない内に周囲の人たちに感染を広げてしまうおそれがありま

す。特に妊娠初期の女性が風しんに感染すると赤ちゃんが心疾患・白内障・難聴をもつて生まれる可能性があります。未だ抗体検査を受けましょ。に抗体検査を受けましょう。

厚生労働省の「風しんの追加的対策」により、対象となる方には、令和7年2月末まで無料で抗体検査と予防接種券をお届けしています。

まだ抗体検査を受けていない方は、町の健康診査、職場の健康診断(事前に検査機関に確認をお願いします)、医

不明な点などありましたら、担当までお問い合わせ願います。

※クーポンは全国の医療機関で使えます。詳しくは、直接医療機関にご確認ください。

肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛沫感染し、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。

肺炎球菌はわが国の死亡原因の第5位となっています。

65歳の方
(65歳の誕生日前日から66歳の誕生日の前日まで)

*過去に成人用肺炎球菌ワクチンを接種されたことのある方

担当までお問い合わせください。予診票をお送りします。

地区サロンにおじゃまします！ 健康運動指導士等、保健師、管理栄養士 出張講座のお知らせ（出張費無料）

1. 運動講座

- ①講師 吉村真美子 先生（健康運動実践指導者）
- ②講師 柏植信一郎 先生（健康運動指導士）
- フレイル予防のための健康体操、頭の体操、代謝向上のための体操など



2. 健康講座

- ①栄養講座 町管理栄養士
- ②健康講座 町保健師
- 栄養改善・衛生管理のポイント。
- パッククッキング、減塩、フレイル予防などのレシピ紹介。
- 生活習慣病（血圧・血糖・脂質など）について。検査データの見方など。

サロンのご希望に応じます。

担当 地域包括支援センター／健康しあわせ係
南木曽町では、”高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業”を今年度も行います。

複数の病気、フレイル、認知症の進行により健康上の不安が大きくなりやすい高齢者の特徴をふまえ、住み慣れた

地域で自立した生活ができるだけ長く送るために、講座を受けてみませんか？
参加をご希望の方は役場担当まで、希望の講座や日程を連絡してください。
本講座は平日の実施を予定しています。サロンによっては日程の調整をお願いする場合があります。

2月の”各種検診該当者意向調査票”にて、意向を確認したところですが、下記医療機関にて受診を希望される方は、お手数ですが担当までお電話をお願いします。
健診と治療と生活習慣の改善をしながら、健康で自立した生活を長く送りましょう！

後期高齢者 個別健診が始まります

担当 健康しあわせ係／住民係

後期高齢者医療保険の皆さんにも、一部医療機関において”個別健診”を受けました！

医の定期受診とあわせて受け

ることができていたのに、後

期になつたら集団健診か人間

ドックしかない…』というお

声を毎年いただいていまし

た。

『国保の時は、かかりつけ

医の定期受診とあわせて受け

ることができます。サロンによ

っては日程の調整をお願いする場

合があります。

主な医療機関名

- ①木曽郡・篠崎医院
- 木曽病院
- 古根医院
- ②長野県内・飯田市立病院
- 健和会病院

農地を適正に管理するための草刈機の貸し出しを行っています

担当 農林係

町では、農地の適正な管理のため草刈機の貸し出しを行っています。

草刈機の貸し出し

- ①畦畔用草刈機 1台
- ②自走式草刈機 1台

燃料費の負担のみで使用料は不要です。

貸し出しを希望される場合は、事前に役場担当係まで申込みをしてください。

受診料・無料

※該当医療機関かお調べしますのでお問い合わせください。

その他

被保険者の方へ別途個別通知も郵送します。（受診

期間が医療機関により異なります。）

担当 農林係

5月は春の農作業安全運動月間です

- 毎年、農作業による死亡事故が、約200件発生しています。春から秋にかけては農繁期となり、農機具や農薬、電気牧柵などを使用する機会が多くなりますので、次のこととに注意して安全に農作業を行いましょう。



※個別健診、集団健診、人間ドック助成は併用できません。年に1回、ご都合の良い受け方を選んでください。

・疲れたら、早めに休みましょう。
・規格やルールを守って使用しましょう。

結婚新生活支援事業補助 金の申請は令和7年3月 7日までです

担当
元気なまちづくり係

令和6年3月1日から令和7年3月までに婚姻届を提出し、受理された夫婦に対し、婚姻を機に発生した住居費や引越し費の補助金交付を行っています。**申請は令和7年3月7日まで受け付けています。**

**■南木曽町結婚新生活
支援事業補助金**
住居費・引越し費・リフロー
ム費用
世帯A①上限60万円
世帯A②上限30万円
世帯B 上限15万円
※年齢・世帯総所得により
世帯区分を判断します。

※補助金について、予算が限度額に達した場合は期限より前に申請を締め切らせていただきますので、ご了承ください。

結婚祝金の申請は令和 7年3月末日までです

担当
元気なまちづくり係

平成30年4月1日以降に婚姻届を提出し、南木曽町に住所を有する方は、婚姻から3年経過時まで年度ごとに祝金の交付を受けることができます。今年度対象となる方は、**令和7年3月末日までに申請をしてください。**

期日を過ぎますと補助対象外となりますので、早めの申請をお願いします。

■南木曽町結婚祝金交付
婚姻時 5万円
婚姻後1年経過時 5万円
婚姻後2年経過時 5万円
婚姻後3年経過時 5万円
※婚姻届出先は町内外を問いません。
※詳しくは町ホームページをご確認いただき、役場担当までお問い合わせください。

妻籠町並み交流セン ター建設工事 入札不正行為に係る 国庫補助金を返還

担当
元気なまちづくり係

「妻籠町並み交流センター建設工事」における入札不正行為に関して、町は建設工事請負契約書の条項に基づき、事業者に対して契約額の10分の2にあたる4128万3千円の賠償金の請求を行いました。

この請求に対し、事業者から3月4日に同額の納付がされたことに伴い、超過交付額と算定された国庫補助金（街並み環境整備事業補助金）2064万1千5百円を3月19日に国に返還しました。

能登半島地震災害支援のため 町職員を派遣

能登半島地震災害の支援として、3月31日(日)から4月5日(金)まで、町職員2名（総務課・西尾真一課長補佐、建設環境課・松永聖斗主事）を派遣しました。

派遣先は石川県輪島市で、支援業務として「避難所運営」に携わり、食事の配食、物資の受入れ・在庫整理、避難所内の警戒見回りなどの業務にあたりました。

輪島市は奥能登と呼ばれる石川県の最北部に位置して、今回の地震では震度7の非常に強い揺れにより甚大な被害を受けました。被災家屋は14,000戸を超え、地震発生当初は、市内160か所の避難所に12,000人以上の人人が避難するという状況でした。

能登半島地震災害は、被災範囲が広く、その被害規模も甚大です。町は今後も、人的・物的支援の両面で被災地支援を行っていきます。



避難所の様子



避難所での配食活動

令和6年度 消防団入団式

南木曽町消防団の入団式が3月31日に社会体育館で行われました。

昨年行った定年延長により、定年による退団者はいましたが、役職定年等で牧野前本部長をはじめ消防団幹部の顔ぶれも変わり、本年度は加藤新本部長をはじめ新役員19名が任命を受けまし

た。本年の入団者は、基本団員5名で、団員合計243名体制となります。

今回の入団式では、平尾団長より総指揮を命下された高橋副団長が総指揮を執り、女性消防団員（本部分団）の小林和可奈さんの司会により進行されました。



新役員紹介

(部長以上)

団長	平尾 真
副団長	高橋 宏光
本部長	横山 純
本部分団	加藤 弘彰
本部分団	浮本 尊徳
第1分団	原田 勉
第2分団	三石 純也
第3分団	松田 耕平
ラッパ隊	茶原 雄気
本部分団	安田 弘幸
第1分団	早川 義弘
第2分団	熊澤 徹
第3分団	奥村 諭
ラッパ隊	新井 孝史
本部分団	大野 歴史
第1分団	今井 健介
第2分団	中坊 孝史
第3分団	北原 将
ラッパ隊	桐山 太一
部長	桐山 太一
部長	長渕陽太郎
部長	ラッパ隊

3月町の動き

1日	国有林觀光協議会総会、蘇南高校語学研修結団式
2日	蘇南高校卒業式
6日	能登半島地震被災地（石川県穴水町）へ「なぎそね」の手渡し支援、明治大学政財界懇談会
7日	国交省訪問、後藤代議士面会、こども園運営協議会木曽広域連合業者選定委員会、御嶽海後援会役員会JA南木曽組合員総会、定例教育委員会長土連木曽支部協議会総会
8日	J A南木曽組合員総会、定例教育委員会長土連木曽支部協議会総会
9日	綠誠蘭高校卒業式
11日	議会定例会（再開）
12日	J R東海要望活動、サードブック贈呈式
13日	議会定例会（再開）、議会全員協議会
14日	第3回木曽医療圏地域医療構想調整会議定例民生児童委員協議会、妻籠宿保存審議会
15日	南木曽小学校卒業式、木曽地域公共交通活性化協議会
16日	木曽ひまわり基金法律事務所開所式
18日	南木曽中学校卒業式、総合教育会議
19日	健康づくり計画策定懇話会
21日	小中学校教職員離任式、木曽郡緑化推進会議
22日	木曽川流域治水会議
26日	なぎそども園卒園式、勝野真言先生ミニメントお披露目会、地域福祉計画策定推進懇話会
27日	木曽病院との一次救急意見交換会 消防団幹部引継会、定例農業委員会 リニア中央新幹線対策協議会
31日	南木曽町消防団入団式

教育委員会報告

3月8日に定例教育委員会を開催しました。主な協議事項は次のとおりです。

● 南木曽町子育て支援ショートステイ事業実施要綱の制定について承認しました。

● 南木曽町中間教室設置要綱の制定について承認しました。

● 南木曽町中間教室設置要綱の制定について承認しました。

● 令和5年度までとする第3次南木曽町教育大綱（教育振興計画）の令和6年度までの延長と内容について承認しました。

協議事項

● 3月議会初日・議会全員協議会における教育委員会関連事項について報告し、確認しました。

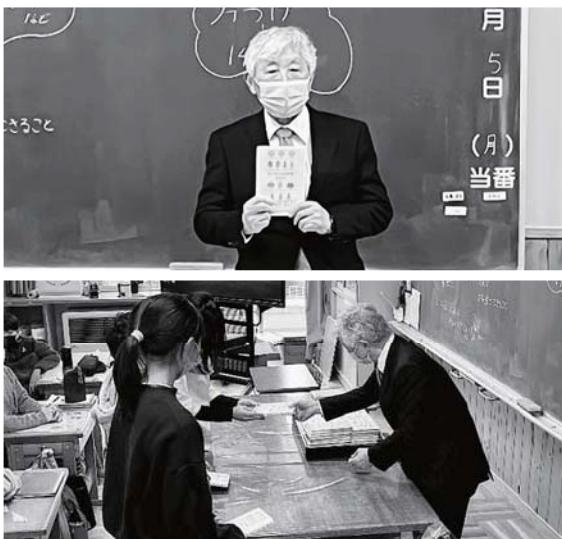
● 教育委員会への後援依頼について審議し、1件について後援しないこととしました。

● 中学校部活動地域移行に関する準備会を立ち上げて検討していくことについて確認しました。

その他、主な行事、事業等の報告を行いました。

南木曽小学校生徒へ 本の寄贈を受けました ありがとうございます

坂下診療所長の高山哲夫先生が執筆された児童書「テッチンの四季」が南木曽小学校の児童全員へ寄贈されました。
2月5日(月)に6年生児童に贈呈され、高山先生からは「自分が6年生の頃に住んでいた松本市での様々な体験、失敗を書いています。多くの失敗をすることが、次への成長に繋がります」とお話をされました。
公民館図書館にも置いてありますので、ぜひご覧ください。



担当 教育委員会

広瀬淑子さんのチャリティー作品展の 売り上げの寄付をいただきました

広瀬淑子チャリティー作品展実行委員会より、町内で昨年12月に開かれたチャリティー作品展の売り上げから運営経費を差し引いた821,200円を、町の子どもたちの教育支援を目的に寄付していただきました。

広瀬さんの長男で実行委員会代表の藤原隆洋さんから2月28日に直接、町長に手渡されました。
故広瀬淑子（1943～2015年）さんは、南木曽町出身の画家です。チャリティー展では小作品を中心にお絵画や立体造形が展示販売され、計101点が来場者の手に渡ったとのことです。

町では、学校と相談して有効に活用していきます。



担当 教育委員会

長野県結婚・出産・子育て支援サイト 「チアフルながの」をご利用ください

長野県では、「結婚」「出産」「子育て」支援に関する総合的な情報を手軽に入手できるように、長野県結婚・出産子育て支援サイト「チアフルながの」にて情報発信を行っています。

1.コンテンツ

【出会い・結婚】

- ・県内で開催する出会いや結婚を応援するイベントセミナー情報
- ・ながの結婚マッチングサイト NAGANO ai MATCH
- ・婚活に関するコラム
- ・長野結婚応援パスポート（エンパス）など

【出産・子育て】

- ・妊活をする方をサポートする補助制度や相談先などの情報
- ・県内で開催する子育て関連イベント
- ・子育て関連情報
- ・ながの子育て家庭優待パスポート

2.その他

- ・コンテンツについては随時更新をしていく予定
- ・結婚、出産、子育てに関する支援情報を市町村や企業県民とともに一元的に発信するポータルサイトとなっています。ぜひご覧ください。

3.ホームページURL

<https://www.cheerful-nagano.com/>



QRコード

お問い合わせ

長野県県民文化部こども若者局

次世代サポート課

☎026-235-7207

午前8時30分～午後5時15分

（土・日曜、祝日、年末年始を除く）

災害から身を守るために!!

木曽広域一斉メール配信サービスの登録・利用をお願いします

このサービスは、南木曽町がケーブルテレビ文字放送で放送している情報を電子メールでパソコンやスマートフォンに受信できるサービスです。

文字放送同様に、行政情報や道路通行止め等の緊急情報を電子メールで受け取ることができます。特に大雨や台風においては避難情報や避難所開設情報等の重要な情報を受け取ることができ、事前に情報を知っておくことで災害への備え、スムーズな避難が可能となります。災害から身を守るために、ぜひ登録をお願いします。

登録サイト

URL : <https://pad.kiso.ne.jp/service>

上記URL、もしくは、右記QRコードをパソコンやスマートフォンで読み取ることで、配信サービス登録画面に簡単にアクセスできます。



登録の流れ

- ①登録画面でメールアドレスを入力し「登録ボタン」を押すと、登録したアドレスに「木曽広域一斉メール配信サービスからのご案内」というメールが届きます。
- ②届いたメールのリンクから本登録画面に進み、画面のメニューに従い「エリア」（「南木曽町全域」を選択してください）を選択し24時間以内に本登録を行ってください。

注) メール配信サービスをご利用になる場合には、ドメイン指定受信設定などメールの受信ができるよう変更する必要があります。詳しくは、登録サイト内に記載がありますのでご確認ください。

**症状に応じた
「上手な医療のかかり方」を
まづはんがナビゲート!!**

長野県HPから
保存版
上手な医療の
かかり方BOOKを
ダウンロード!

詳細は
こちらから

長野県 健康福祉部 医療政策課



ひばりさん なぎそども園 卒園おめでとう



卒園児14名です。

南木曽の自然の中で、たくさん遊んで体験したことは、みんなの身体、心の根っこになりました。

♪いつのまにかおおきくなった いつのまにかなかなくなつた。
いつのまにかこけなくなつた いろいろできるようになつた。
♪はじめてのであい はじめてのなかま はじめてしつったたくさんのこと
ここですごしたまいにちが みんなのこころのねっこになれ



なぎそども園 記念オブジェのお披露目式



こんにちは

蘇南高校です

蘇南高校は「丘の上から世界につながる高校」を目指します

H P <http://www.nagano-c.ed.jp/sonan-hs/>



令和6年度第72回長野県蘇南高等学校入学式で、24名の新入生が宣誓文署名を行いました。

村松義晴校長式辞より（一部要約）

幕末から明治初期に活躍した越後国長岡藩の小林虎三郎は、北越戦争で敗れて財政が窮乏する中、三根山藩から送られた百俵の米を藩士に分配せずに売却しその代金を学校設立の費用とする決定をしたところ、その日の食事にも事欠いていた藩士らの反発にあいましたが「百俵の米も食べばたちまちなくなるが、教育に充てれば明日の一万、百万俵となる。」と諭しました。この逸話は蘇南高校の成り立ちと重なります。敗戦後間もなく財政的に困難な状況下、大切な村有林の木を資金にして蘇南高校の設立を成し遂げた先人の願いがこもった坂田組合長の開校式でのあいさつは今読んでも心に響きますので紹介します。「我々は決して有り余った村財政によって計画したのではなく、憲法に規定する教育の機会均等を、普く子弟に得せしめたいとの念願に、郷党等しく燃え、敢然意を決したのでありますから、是が非でもこの学校を立派に育て上げ、初期の目的を達成し、平和な文化国家の建設に寄与いたしたいと存じます。」

校舎も体育館もグラウンドも、生徒自らあるいは地域の方々の援助を得て完成し、その後多くのサポートをいただいて現在に至ります。（以下省略）



地域の皆さまの情熱が、今日も変わらず脈々と受け継がれていることを職員も再確認し、この地の隅々まで学びを届けるべく身を引き締めて教育に当る決意を新たにしました。

海外語学研修旅行（3月3日～12日）



南木曾町よりご支援をいただいている海外語学研修旅行の前半の日程について報告します。

1日目、バンクーバー到着後のグランビルアイランド市場での昼食では長旅の疲れは多少見られましたが、注文を英語でする姿は頗もしく見えました。その後、世界最大級の都市公園スタンレーパークを散策し、研修先のRegent Christian Academyでのオリエンテーションのあと、夕方には各自ホームステイ先に落ち着きました。

2日目、午前中のAll in Englishの授業に懸命に食らいついでこうとする姿が印象的でした。授業が軽快なテンポで進行するうちに緊張も次第に解け、心を開いて発言するようになりました。

3日目、バディ（現地で一緒に行動してくれる同世代の高校生）と共に現地校の授業に参加しました。日本語でも難しい内容で、本研修の中で最もハードな挑戦でしたが、諦めずにやり遂げた経験は成功体験として心に刻まれました。授業後のバディとの交流会で、全員が英語でプレゼンする姿はとても頗もしく、その後のゲーム大会では、和やかに交流する姿やゲームのルールを自ら説明する姿も見られました。現地の学生と様々な形で交流した、刺激に溢れた時間を過ごしました。

4日目の授業では、自分の性格や特徴について考える、自己表現の方法を学びました。5日目は、5年後、10年後の自分の将来についてポスター発表する活動を通して、英語の語順の感覚について変化を感じられ、英文がこれまでよりスムーズに出てくるようになりました。





議会だより

令和6年 3月定例会・全員協議会



子ども園に展示されている、
勝野真言先生制作のオブジェ。

議会の眼：

町出身の芸術家の方々より作品が寄贈されました。
子どもたちが身近な場所で芸術に触れられるように展示されています。



小学校廊下に展示されている、
広瀬淑子先生制作の絵画。



- ★ 3月定例会可決議案一覧
- ★ 一般質問 .. 8人の議員が質問
- ★ 請願・陳情
- ★ 令和6年3月補正予算
- ★ 令和6年度当初予算
- ★ 全員協議会
- ★ リニア新幹線対策特別委員会報告
- ★ 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会報告
- ★ 木曽広域連合議会報告



上：能登半島地震の
1日も早い復興を
願い、日本赤十字社を通じて
議会議員一同から
義援金5万円をお贈りしました。
左：高橋進議員が
議員活動28年の
表彰をされました。

37 36 36 34 31 29 28 24 23
P P P P P P P P P

○3月定例会は、2月26日から3月13日の17日間の会期で開かれました。また同日に全員協議会が行われました。

議会だより目次

22
P

令和6年 3月定例会 可決議案一覧

予算関連議案			賛否
●令和5年度 補正予算	・一般会計（第8号）の補正是5,269万7千円減額し、総額44億8,310万5千円となります。	審議内容 掲載P29	賛成 多数
	・一般会計（第9号）の補正是109万円増額し、総額44億8,419万5千円となります。		
●令和6年度 当初予算	・一般会計予算総額：39億4,500万円（前年度比較3.7%減） ・特別会計予算総額：4億6,249万3千円 ※事業会計については今月号11Pをご覧ください。	審議内容 掲載P31	賛成 多数
一般議案			賛否
●令和5年度町道中山道道路災害復旧工事請負契約の締結及び契約の変更	・契約の方法：指名競争入札 ・契約金額：145,970,000円（税込）→変更後：147,774,000円 ・契約の相手方：株式会社 名工土木		全員 賛成
●木曽広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄	・木曽広域連合の事務・事業は、ふるさと基金の一部を取り崩して財源充当をするため、木曽広域連合ふるさと基金条例に規定する基金の処分にあたり、南木曽町の出資分のうち453千円の権利を放棄するものです。		全員 賛成
●南木曽町過疎地域持続的発展計画の変更	・事業内容の変更や追加など、計画の一部を加除・修正するものです。		全員 賛成
同意案件			賛否
●固定資産評価審査委員会の委員の選任	・池田 興衛（再任）：南木曽町吾妻		全員 賛成
条例議案			賛否
●パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	・地方自治法の一部改正に伴い、パートタイム及びフルタイム会計年度職員に対する勤勉手当の支給について追加規定するものです。		全員 賛成
●フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正			
●南木曽町職員の懲戒に関する条例の一部改正			
●南木曽町消防団条例の一部改正	・南木曽町消防団の組織体制の見直しに基づき、団員の定年年齢を49歳まで引き上げ、定員を310名から270名に改めるものです。		全員 賛成
●南木曽町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	・消防団員の待遇改善を図るため、消防団員及び機能消防団員の報酬額を引き上げるものです。		全員 賛成
●南木曽町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	・公職選挙法施行令に規定する公営単価について、公営に要する経費に係る限度額の引き上げ改正に準じて条例の一部を改正するものです。		全員 賛成
●南木曽町犯罪被害者等支援条例	・犯罪被害者等支援の基本事項を定め、犯罪被害者等が受けた被害の回復と軽減を図り、再び平穏な生活を営むことができるよう支援するために必要な事項を定めるものです。		全員 賛成
●南木曽町国民健康保険税条例の一部改正	・令和3年度から行っている改正であり、県が毎年度算定し市町村に示している標準保険税税率を目標とし、町の税率を近づけていくものです。令和9年度に向け徐々に改定していきます。		賛成 多数
●南木曽町福祉医療費給付金条例の一部改正	・県の福祉医療費給付事業補助金の対象外となっていた「後期高齢者医療被保険者（障害者を除く。）」について県補助分対象となったことにより町の条例も改正するものです。		全員 賛成
●南木曽町営簡易水道条例の一部改正	・簡易水道事業経営認可の給水区域を拡張するため、条例の文言を修正するものです。		全員 賛成
●南木曽町営住宅等に関する条例の一部改正	・公営住宅長坂団地の1棟1戸を公営住宅から単独町営住宅に用途変更及び除却することで、公営住宅に入居できない者向けの住宅として活用するものです。また、町営住宅中折団地は除却により削除するものです。		全員 賛成
●南木曽町子ども・子育て会議条例の一部改正	・子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、文言を修正するものです。		全員 賛成
●南木曽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に合わせて整理するものです。		全員 賛成

3月定例会

8人の議員が一般質問



◆赤坂 孝 議員

- ・全世代型社会保障高齢者の負担増について
- ・今後のリニアについて

◆伊藤 寿子 議員

- ・空家対策総合支援事業
- 選ばれる町になるためには
- ・災害備蓄品の更なる充実・配備の内容は

◆田中 晃 議員

- ・観光で稼げる町づくりを提案

◆早川 親利 議員

- ・町長の8年間を振り返って
- ・退職した職員の再雇用について

◆松原 崇文 議員

- ・地震防災について

◆近藤 隆 議員

- ・人口減少対策はどうするか

◆矢澤 和重 議員

- ・YouTubeチャンネルを開設しては

◆坂本 満 議員

- ・地方創生総合戦略の転換が必要では
- ・リニア工事の実情

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

**全世代型社会
障高齢者の負担
増について**

A 国では経済財政諮問会議において「全世代型社会保障の構築」を目指し、制度改革の検討を行っています。そこで窓口負担増を令和10年度までに実施するか検討するとしています。国の枠組みであり、町では動向を見守りたいと思います。**Q** 高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げ検討について問う。

A 窓口負担増と同様に令和10年度までの検討課題で、町では国の動向を見守りたいです。

Q 介護老人保健施設の多床室の室料金全額自己負担とケアプランの有料化について問う。

A 国で検討中なので、動向を見守りたいです。

Q 老々介護の実態は。

A 木曽広域の調査では6割より低い水準となっ

今後のリニアについて

A 成、任期は。

Q 委員の選出基準、構

A 詳細は設置要綱に記

Q 載され委員会は20名以内、

A 1期2年、継続可能です。

Q 繰りについては臨機に対

A 応していきます。

Q の構想を軸に、アイディ

A アの検討、提案を行いま

Q す。

A す。

Q す。



赤坂 孝 議員

空家対策総合支援事業選ばれる町になるためには

Q 町長施政方針に空き家対策の新規事業として、空き家を活用したサテライトオフィス、移住体験住宅、移住定住促進空家活用住宅の整備事業を始めるとある。今どこの自治体でも力を入れている事業だが、その中で移住者に選ばれるために何かこの町独自の方策を考えているか。

A 6年前に空家対策協議会を設置し、所有者不明で危険な家屋への対応やまた活用可能な住宅への対応を進めてきました。

妻籠宿の田原家・櫻井家や現観光協会の事務所、田立の地域活動支援センターなど地域振興上有効な場合などです。また今回のような移住定住策に活用可能な場合もありま

す。移住希望者向けPRとしては、府内の移住検討委員会で移住支援をま

けています。また町への移

住者の体験談をまとめたパンフレットを、東京有

樂町の移住者相談窓口に置き、PRに活用してい

ます。

Q 妻籠宿の田原家がこの事業の最初だったが、そこそこそサテライトオフィスに適していたのではないかと思うが。

A 空家対策事業は危険

家屋の対策と活用できる

ものは活用するというも

ので一例が田原家・櫻井

家です。様々な用途で利

用されているため検討の

範囲に入れませんでした。

Q 能登半島地震により、改めて災害の恐ろしさを実感したが、町の備蓄品の現状は。

A 町内22の公共施設に、

保存水3000本、ご

飯・パン5000食、ワ

ンタッヂテント50張、エ

アマツト160枚、毛布

490枚、仕切り用パ

ーテーション110基など

です。新年度は簡易トイ

レの備蓄充実も予定して

います。

Q 滞在型の観光地を目指すには、「観光協会」の役割が重要だが、現在「南木曽町観光協会」は人員不足もあり、十分な活動ができるいないよう

に見受けられる。町は今後どのような支援を考え

ていますか。

A 地方創生総合戦略な

どの施策を中心に入口減

少対策を実行してきましたが、数値的には結果に

結び付いていません。し

かし、日本全体でも人口

減少は進み、どの町でも

決定的な対策がないこと

も事実です。子育て世代

を中心に「選ばれる町」

をを目指し、出来る限りの

対策を実施していきます。

Q 対策を実行するためには原資が必要。町の財政も苦しく、地方交付税等に頼っていては有効な対策が打てない。町も現在好調のインバウンド観光を活用し、滞在型の観光地を実現させ、もっと税金を稼ぐことを考えはどうか。

A 農泊推進協議会が重

点地域指定を受け、国か

らの支援を頂けることと

なりました。また、中津川市や木曽地域・下伊那地域と連携した「リニアリズム構築事業」等を推進し、民間の協力も得ながら、滞在型観光地実現に取り組んでいきたいと考えます。



伊藤 寿子 議員

町観光で稼げるづくりを提案

なりました。また、中津川市や木曽地域・下伊那地域と連携した「リニアリズム構築事業」等を推進し、民間の協力も得ながら、滞在型観光地実現に取り組んでいきたいと考えます。

期待する。



田中 晃 議員

Q 対策を実行するためには原資が必要。町の財政も苦しく、地方交付税等に頼っていては有効な対策が打てない。町も現在好調のインバウンド観

光を活用し、滞在型の観光地を実現させ、もっと税金を稼ぐことを考えてはどうか。

A 農泊推進協議会が重

点地域指定を受け、国か

らの支援を頂けることと

なりました。また、中津

川市や木曽地域・下伊那

地域と連携した「リニア

リズム構築事業」等を推

進し、民間の協力も得な

がら、滞在型観光地実現

に取り組んでいきたいと

考えます。

南木曽町の人口推移

年度	死亡	増減	転入	転出	増減	合計
H30	92	-74	111	122	-11	-85
R 1	62	-43	124	127	-3	-46
R 2	73	-60	124	138	-14	-74
R 3	88	-75	109	109	0	-75
R 4	89	-75	107	129	-22	-97

人口減少対策はどうするか

研究を進める必要があると考えています。

●区の統合と役員業務の軽減策は



近藤 隆 議員

Q 長野県の人口が半世紀ぶりに200万人を割った。南木曽町は、現在約3750人で人口減少に歯止めがかからない状況だ。人口問題研究所によると26年後の2050年は2000人を割ると推計されているが今後の対策はどう考えているか。

A 現在、人口減少対策と人口減少社会に対応した地域を作っていくための各種施策に取り組んでいます。

Q 南木曽町は、平成16年に自立の道を選択して今年で20年になるが、町村合併は考えているか。

A 現在は合併による財政支援もないため町村合併については考えていません。しかし、郡内各町も人口が減っていく中で町村が運営する類似施設などは効率的に進めるうえで広域化・共同化の選出が難しくなつております。

Q 今後、保健補導員の会議の中で検討します。公民館の分館役員も選出が難しくなつております。

Q 区にはそれぞれの歴史や事情があるため町が指導的に進めるのは難しいと考えています。

Q 町が依頼している地区役員の負担軽減についてはどうのように考えているか。

A 防犯協会については、一定の役割を終えたとの判断により令和4年度をもって解散しています。また、他の役職についても業務の見直しや仕組みを工夫していきます。

Q 保健補導員は健診の調査票を各戸へ配布しているが、このような業務を郵送にして業務の軽減

Q 今まで一般質問において、空家対策、サテライトオフィス等の質問をしてきた。新年度事業、空家対策総合支援事業・サテライトオフィス・移住体験住宅整備事業、移住定住促進空家活用事業は、とても良い事業として始まると思う。更に促進するように町をアピールする為（観光地、特産物、暮らし等）YOUTUBEチャンネルの開設をしてはどうか。

A 新年度に提案しているいくつかの事業に取り掛かろうとしてきましたが、経費の問題、条件に合うような物件を探すのに苦慮し、色々な課題がある中でようやく事業化できました。サテライトオフィスは以前からも提案いただいていますし、空家活用事業は子育て世代、移住、若者世代を

Q 今、田舎暮らし、家庭菜園などのキーワードが人気だ。南木曽町を知つてもらうアピールをするには最適と思う。町のYOUTUBEチャンネルの開設は難しいかもしないが、例えば地域おこし協力隊、コーディネーターに協力していた

Q アピールすることは非常に大切なことで、特に今の時代上手な情報発信が、町の認知度あるいは政策の活用に結びついでいくことは十分にあると考えます。今のところホームページを活用してアピールしていけるように期待している。

YouTubeチャンネルを開設しては

ターゲットに進める事業だと思っております。

●町のアピールを



矢澤 和重 議員

Q 今、田舎暮らし、家庭菜園などのキーワードが人気だ。南木曽町を知つてもらうアピールをするには最適と思う。町のYOUTUBEチャンネルの開設は難しいかもしないが、例え地域おこし協力隊、コーディネーターに協力していただけた。選ばれる町には必要と思うがどうか。

A アピールすることは非常に大切なことで、特に今の時代上手な情報発信が、町の認知度あるいは政策の活用に結びついでいくことは十分にあると考えます。今のところホームページを活用してアピールしていけるよう

Q 2050年には2千人を割つて超少子化・高齢化の町になることが予想されている。南木曽町を維持していくためにも区をどのように守つても区を喫緊の課題として考えていただきたい。

A 人口減少は生産年齢人口の減少に直結しており、町の産業・経済や財政が縮小し住民生活にも大きな影響が出てくる。人口減少は全国的なことだが、町としては人口減少の速度を少しでも緩和して、人口が減つても暮らしあよい町をつくり上げていくことをお願いする。

Q 6800件のアクセスは6800件のアクセスは多いと思う。それはぜひ利用活用してアピールしていただきたい。今後、移住者、定住者、地域の皆さん皆で協力して町をアピールしていけるようPRを考えています。NPO法人ふるさと回帰センター、ウェブマガジンふるさとに掲載予定です。

A 新年度に提案しているいくつかの事業に取り掛かろうとしてきましたが、経費の問題、条件に合うような物件を探すのに苦慮し、色々な課題がある中でようやく事業化できました。サテライトオフィスは以前からも提案いただいていますし、空家活用事業は子育て世代、移住、若者世代を

Q このホームページは一日に6800件のアクセスがあり、これから移住しようと検討されている方の閲覧が多くあります。

地方創生総合戦略の転換が必要ではある

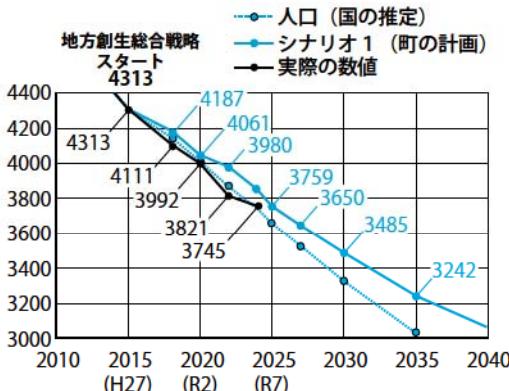
Q 総合戦略は来年度10年目を迎えるが、人口は左図のようだ。どのように評価していくか。

A 国が推計した人口減にほぼ近い状態になつておらず、残念ながら我が町においても人口減少そのものは止まらない結果となつております。

Q この地域が絶えず若い人材を育んでも、ここにとどまれない。戦略の大きな転換が必要。

A 1つは格差の解消。男

南木曾町の人口動態の推移と実際(人)



女間、職業における賃金格差の解消。2つはジェンダー平等。3つは自給と自立を目指す視点。

A 子どもたちのふるさとへの心を養っていくための教育方針を作つてく考えです。

賃金格差の解消はもつともで、農林業も賃金が上がれば自立できます。ジェンダーという言葉は、捉え方を慎重に判断して取り組む必要があり

リニア工事の実情



坂本 満 議員

●令和6年度税制改正に関する提言ならびに法人市町村民税(法人税割)の標準税率採用の要望について

14日	全員協議会	議会のあり方研究特別委員会
19日	国道256号改良促進期成同盟会長野県要望活動	議会報編集特別委員会
20日	南木曾町右岸道路づくり委員会	蘇南高等学校地元市町村協議会
25日	南木曾町消防団出初式	
30日	後藤代議士との行政懇談会	

提出者
一般社団法人
木曽法人会

趣旨

会長 大沢謙一
支部長 山田新一
税制委員長 進藤賢一

理由

結果

不採択

法人企業の税負担を軽減するため、法人市民村民税(法人税割)の標準税率採用に対し、早急な取り組みを求める。

●県境からの掘削
●山口工区からのトンネル掘削状況は。
A 先進ボーリングの一部が、南木曾側に既に入っています。

●河川に必要な流量は河川の正常流量がまだ決まっていない。
A 男タル川以外は、正常流量を示すかは聞いていません。

理由
郡下でも同様の制限税率。住民も標準の1.4%ではなく1.6%の制限税率としている。自立計画以来の取組であり、税率変更で357万円の減収となる。

29日	2月	5日	南木曾町議会第1回臨時会
26日		議会のあり方研究特別委員会	松塩筑木曾老人福祉施設組合議会2月定期会
20日		新木曾寮竣工式	長野県町村議会議長会第38回定期総会
16日			南木曾町議会3月定期会(～3月13日)
11日			木曽広域連合議会

議会の主な動き(12月定期会閉会以降を記載)

3月補正予算審議概要

令和6年3月補正予算（一般会計、特別会計、事業会計）が審議され、賛成多数で可決されました。補正予算概要を次ページの表に示し、審議での主な質疑を掲載します。

縦越明許費

で伸びました。

●システム整備の縦越

Q 低所得者支援給付

●下り谷地籍災害復旧工事

Q 下り谷地籍、民家付近の災害復旧工事について、その経過と理由は。

A 2月の臨時議会で補正したものです。補正後からシステム改修見込めないため縦越を行いました。

●旧田立電機建物除却設計事業縦越

Q 蘭地区の旧田立電機の建物除却設計が他事業との調整により次年度以降に縦越となつていている。跡地利用の事業が計画されているのか。

A 発注が終わり、契約内容については改めて説明します。

●町道蘭線道路改良工事の縦越の理由は。

Q 町道蘭線道路改良工事の縦越の理由は、また国道256号線の工事に影響はないか。

A 用地買収が設計内容により長引いたためです。県も町と同時に縦越すため影響はありません。

●町道妻籠町中線美装化工事

Q 町道妻籠町中線美装化工事で関係機関との協議に時間を要した

A 施工方法について地元との協議に時間を要したことと、側溝の蓋について住民との協議により進めているため、3月工期が5月ま

●町道中山道災害復旧工事

Q 町道中山道災害復旧工事

A 旧工事の縦越理由は。昨年6月に現場近くが被災した際に、周辺の地質等について専門家の意見を基に検討したため、縦越となりました。完了は5月の予定です。

調査は実施し、少量ですがアスベストの使用が確認されたので慎重に対応しています。土壤汚染の調査については今後調査を検討します。

Q 縦越をせず6年度の新規事業に回すのはなぜか。

A 過疎債などの起債でのみ財源構成をしている事業が、県の調整で起債できない場合には次年度送りとするものもあります。

Q 国保税今後の見通し

Q 国民健康保険の1人当たり給付費が最近上

がつてきているが、国

保税を上げる状況はあるのか。

A 現在、令和9年度の2次医療圏の保険税率水準の統一に向け改定しているところです。また給付費の増加については県から交付金としてきますので、給付費の増加がすぐに保険税引き上げにつながるものではありません。

Q ふるさと納税の減額はおもてに出ない縦越だ。地域の要望に応えるため、国の状況も厳しいのだとは思うが、実施の努力を求める。

A 現在、令和9年度の2次医療圏の保険税率水準の統一に向け改定しているところです。また給付費の増加については県から交付金としてきますので、給付費の増加がすぐに保険税引き上げにつながるものではありません。

Q 戸籍情報を扱い

Q 戸籍を一括して国

が管理するような政策

が進められている。個

人情報を守ることより、利活用の面が強くなっ

ているのではないかと懸念する。自治体としてどう気をつけているのか。

A 町もセキュリティについては非常に大切だと思っています。考

えられる問題点については、必要な対応をし

住民関係

Q 縦越をせず6年度の新規事業に回すのはなぜか。

A 過疎債などの起債でのみ財源構成をしている事業が、県の調整で起債できない場合には次年度送りとするものもあります。

Q 国保税今後の見通し

Q 国民健康保険の1人当たり給付費が最近上

がつてきているが、国

保税を上げる状況はあるのか。

A 現在、令和9年度の2次医療圏の保険税率水準の統一に向け改定しているところです。また給付費の増加については県から交付金としてきますので、給付費の増加がすぐに保険税引き上げにつながるものではありません。

Q 戸籍情報を扱い

Q 戸籍を一括して国

が管理するような政策

が進められている。個

人情報を守ることより、利活用の面が強くなっ

ているのではないかと懸念する。自治体としてどう気をつけているのか。

A 町もセキュリティについては非常に大切だと思っています。考

えられる問題点については、必要な対応をし

A 建物のアスベストの有害物質について調査の必要があるのではあります。この道は子どもたちの通学路でもある。歩道橋の活用など安全に十分留意した設計をお願いする。

A ふるさと納税を増やす対策はしているか。関係機関と協議しています。

A 町もセキュリティについては非常に大切だと思っています。考

えられる問題点については、必要な対応をし

ては、必要な対応をし

ています。

- 入札による減額
Q 中学校の備品購入費、デイサービスのボランティアの設置費の減額理由は。
- A 入札差金です。

産業観光関係

- 水力発電の資料公表を
Q 水力発電事業は再生エネルギー利用の1つのモデルケースだ。運営している状況を事業化の資料として公表してはどうか。
- A 発電開始から数年経っており、資料をまとめて報告したいと思います。

- 倒木による停電
Q 妻籠洞門から宿場入り口間の倒木による停電があつたが、停電の知らせがなかつた。どうしてか。また中部電力やNTTと協議して危険な木は伐採することはできなかつた。

- A 停電の際には事前に知らせてもらうよう再度申入れしており、今後大規模な停電については、広報無線等でお知らせします。危険木伐採については、中部電力と木曽建設事務所で現在協議中です。

- 児童遊園設置工事の延期
Q 児童遊園設置工事が6年度に送られているが理由は何か。
- A テニスコート跡に設置を予定しましたが、グラウンド・南木曽会館等を含めた周辺の整備を検討すべきと考え、延期としました。まずは基本的なプランを立てた上で児童遊園に着工していくことになるので、児童遊園設置事業は令和6年度以降になる可能性があります。

建築関係

- 地蔵沢堰堤工事
Q 國交省直轄事業の地蔵沢堰堤について、妻籠地区での説明会から時間が経つたが、現在の進捗状況は。
- A 4回不落でしたが、1月の5回目の入札で契約が整いました。工期期間が冬場になってしまつたため5月まで繰越としたいです。
- 林道田の沢線の工事施工状況は。
- A 4回不落でしたが、1月の5回目の入札で契約が整いました。施工业務も計画しています。

教育委員会関係

- 補遺となる町誌の完成は4月予定
Q 町誌の追加部分は
- A 町出身の絵画家、廣瀬淑子さんの絵画売上金で、「教育振興に役立ててほしい」との思いで町に寄付いただいたものです。

リニア関係

全額来年度とし今回は減額しています。

- 予備的措置(その2)
Q 簡易水道の補償費等の減額の内容は。
- A リニアの予備的措置の事業は、予備的措置(その2)協定をJR東海と結んで工事を進めています。令和5年度は仮設の取水、堰堤から仮浄水場までの仮配管工事など2工区を発注します。既設管までの仮配管などは令和6年度に回し、不要分として減額しました。仮設管等の工事完了後のリース代については、

広報

- いつ発行されるか。
A 4月には完成する見込みです。既存の町誌の補遺で平成時代等をまとめてあります。予定部数は300冊です。既存の町誌の通史編、資料編のデータの全てが入ったDVDは付録にしていますが、単独の販売も考えている可能性があります。

- 内容についての講演会などの計画は。
A 公民館等の講座で南木曽町の歴史等を聞いていただく機会の検討を進めています。

- 運搬台数と土量
Q 右岸道路の十二兼での工事用道路に、リニア尾越工区から上限2万6000m³を運んでいるトラックの台数や土量などの資料を把握しているか。
- A 車両については一日往復250台を超えていないかどうか報告で確認していますが、運搬土量は確認していない県に確認しようと思います。

●一般会計・特別会計補正予算 (単位:千円)		
会計	補正額	補正後の金額
一般会計 (第8号)	△ 52,697	4,483,105
一般会計 (第9号)	1,090	4,484,195
国民健康保険特別会計 (第4号)	41,587	383,571
宅地造成事業特別会計 (第3号)	△ 3,299	17,043
後期高齢者医療特別会計 (第4号)	310	77,258

●事業会計補正予算 (単位:千円)		
会計	補正額	補正後の金額
簡易水道事業会計 (第3号)		
収益的収入	△ 187,723	196,714
収益的支出	△ 186,888	189,790
資本的収入	△ 154,327	120,123
資本的支出	△ 154,560	191,226
特定環境保全公共下水道事業会計 (第3号)		
収益的収入	△ 100	79,968
収益的支出	△ 200	56,454
資本的収入	△ 200	15,500
資本的支出	△ 100	50,870
農業集落排水事業会計 (第4号)		
収益的収入	△ 2,500	101,221
収益的支出	△ 2,550	64,390
資本的収入	△ 400	3,000
資本的支出	△ 400	53,474
浄化槽市町村整備推進事業会計 (第3号)		
収益的収入	△ 2,000	127,943
収益的支出	△ 2,500	119,164
資本的収入	△ 920	11,671
資本的支出	△ 800	35,801

令和6年度 当初予算審議概要

一般会計予算39億4500万円、特別会計予算4億6249万3千円、事業会計予算を採択しました。
※詳細内容は、広報なぎそ今月号253P・11P掲載。

総務関係

●骨格予算の内容
Q 施政方針で骨格予算となつてゐるが、予算規模は去年とあまり変わつてない。

A 予算の規模は、令和6年度4億弱という編成をしました。4月に町長選挙があり基本的に骨格予算です。

Q 算規模は去年とあまり変わつてない。
A 予算の規模は、令和6年度4億弱という編成をしました。4月に町長選挙があり基本的に骨格予算です。

算を減額している。町での起業を促進するなど税収を上げる努力も必要ではないか。

A サテライトオフィスの開設等、町でも起業に対する取り組みをしていますが、今後さらに必要な支援策を探りながら、対策をしていきます。

A サテライトオフィスの開設等、町でも起業に対する取り組みをしていますが、今後さらに必要な支援策を探りながら、対策をしていきます。

●町職員の採用状況
Q 来年度の新規採用は3名とのこと。採用希望に対しても十分な応募があつての結果か。
A 積極的な採用をしたいと思つていますが希望通りの応募に至っていないのが現実です。

●町職員の採用状況
Q 来年度の新規採用は3名とのこと。採用希望に対しても十分な応募があつての結果か。
A 積極的な採用をしたいと思つていますが希望通りの応募に至っていないのが現実です。

託するのか。

A 総合計画と総合戦略が一体の計画を作り直します。委託の内容は人口ビジョンの人口推計の見直し、アンケート調査の集計分析等の経費、計画案作成時の打ち合わせ経費などです。統計とアンケートで約230万円になります、現状課題の整理や総合計画組み立てなどの計画策定支援、審議会や策定委員会の運営支援、パブリックコメント等の対応、概要版の作成、郵送料等で約270万円です。

移住・定住関係

●サテライトオフィス開設計画
Q 計画地を見たが、駐車場の整備やフェンスの建設などリフォームにかなり費用が掛かるよう見受けた。今後費用が増大しないか。

A 建設費1600万円、除去費用200万円を計上しており、この範囲で建設できるよういたします。建築年は昭和55年で、耐震についても確認し、建設費用の中に耐震補強の費用も含んでいます。

A 任期満了の3名の内、1名はコロナ禍の特例により、もう1年延長して任務にあたります。他は1名が木曾町、1名が岐阜県内に転出の予定です。新規採用は1名の予定です。

A 3月までは補助がありますが、それ以後は補助がなくなります。

トをし、その意見に基づいて修正する流れになります。

Q 施設使用の開始はいつか。使用してくれた人がいるのか心配だ。

A 令和6年度中の完成を予定し、活用に向けては、ふるさと回帰支援センターなどを通じてPRしていくたいと考えています。

●地域おこし協力隊の去就と採用
Q 本年度で任期満了の隊員の去就と新規採用は。

A 任期満了の3名の内、1名はコロナ禍の特例により、もう1年延長して任務にあたります。他は1名が木曾町、1名が岐阜県内に転出の予定です。新規採用は1名の予定です。

Q しばらくはコロナワクチン接種の予定がない。コロナに感染してしまった場合の治療薬には補助があるか。

A 3月までは補助がありますが、それ以後は補助がなくなります。

きくなっている。システム構築は避けられないだろうが、個人情報保護の問題などもあると考えている。これは必要なものなのか。

A 令和6年度デジタル化は戸籍の標準化・共通化が大きな事業となります。デジタル庁が中心になって実施しております、町としてはやらなければいけない事業として予算計上しました。

●システム化・改修の是非
Q 情報システム改修費用の予算の割合が大

●町民税の減収
Q 町税が減収となつてゐる。法人税も事業者数の減などもあり予

●町民税の減収
Q 町税が減収となつてゐる。法人税も事業者数の減などもあり予

の関係で当初予算に載せざるを得ないことがあります。

●町民税の減収
Q 町税が減収となつてゐる。法人税も事業者数の減などもあり予

●町職員の採用状況
Q 来年度の新規採用は3名とのこと。採用希望に対しても十分な応募があつての結果か。
A 積極的な採用をしたいと思つていますが希望通りの応募に至っていないのが現実です。

●町職員の採用状況
Q 来年度の新規採用は3名とのこと。採用希望に対しても十分な応募があつての結果か。
A 積極的な採用をしたいと思つていますが希望通りの応募に至っていないのが現実です。

●住民関係
Q サテライトオフィス予定住宅（神戸）
A まずアンケートをとり、結果をもとに職員と業者で素案を作り、その後審議会に意見を求めます。協議終了後に案を修正し、議会に諮つて合意が得られれば、パブリックコメント

●住民関係
Q サテライトオフィス予定住宅（神戸）
A まずアンケートをとり、結果をもとに職員と業者で素案を作り、その後審議会に意見を求めます。協議終了後に案を修正し、議会に諮つて合意が得られれば、パブリックコメント

●要望
Q 長く町で活躍してもらえるよう行政の努力を望む。

●要望
Q 長く町で活躍してもらえるよう行政の努力を望む。

●新型コロナ対策
Q しばらくはコロナワクチン接種の予定がない。コロナに感染してしまった場合の治療薬には補助があるか。

●新型コロナ対策
Q しばらくはコロナワクチン接種の予定がない。コロナに感染してしまった場合の治療薬には補助があるか。

●要望
Q 何らかの補助を考えてほしい。

●要望
Q 何らかの補助を考えてほしい。

●不妊治療への補助
Q 町の不妊治療制度の利用実績は。

●不妊治療への補助
Q 町の不妊治療制度の利用実績は。

A 令和2年に3件、3年に1件、4年に2

件、5年は今のところ申請がありません。実績が伸びていない要因の1つとしては、国の制度変更で不妊治療が保険適用になったこともあると思いますが、町も告知の方方法など今後考えていきます。

● 福祉タクシー券の対象拡大

Q オンデマンドタクシーが一部しか使えない。高齢者福祉タクシーも利用条件が狭く、

タクシー券の申請は多くない。福祉タクシーや通学などの足に利用条件を見直し、高齢者、労働しているようだ。介護分野で大きな役割を果たしているが、補助額は昨年とあまり変わらない。

A 社協は人材不足の問題も含めて運営に苦労しているようだ。介護分野で大きな役割を果たしているが、補助額は昨年とあまり変わらない。

Q 社協への支援

Q 社協は人材不足の問題も含めて運営に苦労しているようだ。介護分野で大きな役割を

であれば考えたいと思います。

から検討していきたいです。

● 満蒙開拓団記念碑

Q 来年戦後80年を迎えるが、天白区にある満蒙開拓団の忠靈塔の老朽化が進み壊れそうになっている。町で修理し戦争の歴史を語り継いでいく考えはないのか。

A この福祉という観点は違った切り口で良いと思います。制度の内容を確認し、利用しやすくできるのか検討したいと思います。

● 耕作条件改善事業

Q 耕作条件改善事業を5年度に比べ減額している理由は。

A 補助事業の希望者から当初予算は4件で計上しましたが、2件追加する予定なので令和5年度7件、令和6年度6件となります。

A 現制度では対象でないため難しいです。

● 畜産農家への支援

Q 畜産に使う飼料代の高騰へ補助の考えは。

A 令和5年度まではコロナ臨時交付金で補助できましたが、6年度は財源が無いため難しいです。飼料代には直接国の支援が充てられています。

● 農林関係

● 地域から具体的に伺い、できることからやつていくのが良いのではと判断しています。

A 制度は令和3年に開始され、年間5、6件ずつで推移をしていきます。今後拡充すべきと考えはあるか。

● 補聴器購入補助制度

Q 補聴器購入補助は、来年度30万円で少し減っている。利用しやすい制度への見直しの考えはあるか。

A 知事からも県の支援拡大部分を町で活用してほしいと話をいたしました。それをどこに充てていくかこれ

● 子どものレセプト代

Q 子どもの医療費窓口無料化を県が支援する方向が示され、予算的に余裕ができるのではないか。せめてレセプト代300円の無料化を望む。



満蒙開拓団の記念碑

● 園場整備箇所の公園

Q 国の補助事業のよう、町単園場整備を行った園場の公園も修正できないか。

● 商工業者への支援

Q 林道細野山線の橋梁化計画の2つの橋梁の改修はどうなっているのか。

A 細野山線の2つの橋梁の調査は今年度に

Q 関係する自興会は解散し遺族会も維持するには無理だ。町で維持できないか。

A 現在の管理者と相手を願いたい。

● 農林関係

Q 農業者の声でなく、住民全体でこの町を維持し盛り上げていくには何ができるか検討すべき課題かと思う。

● 要望

希望者減は遊休農地の増加に繋がると危惧する。補助金等の活用を促し、遊休農地が増加しない努力を求める。

● 大型サル捕獲檻

Q サルの大型捕獲檻の計画は、既存の檻の移動設置も含め、農業者が苦しまないよう対応を願いたい。

● 道路関係

Q 林道細野山線の橋梁化計画の2つの橋梁の改修はどうなっているのか。

A 細野山線の2つの橋梁の調査は今年度に

● 商店など事業継続への危機感がある。コロナ禍や物価高騰対策では商品券などで事業者支援ができた。この町で今頑張っている事業者をなくさず、町民全体でこの町の機能を支えていく視点での振興策についての考えは。

●与川大桑村境の林道
●与川の北部では道路が町道から林道になる。水源もあり町境までを町道として管理でききないかという意見がある。

A 大桑への道は緊急道路もあるので、詳細を調べて何ができるか、どんな方法があるか検討したいと思います。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 以前からお願いしている三留野大橋の南木曽中学校寄り三叉路の横断歩道の設置はどうなっているか。
A 警察との協議の結果、横断歩道の設置はできません。路面表示などにより安全対策をとっています。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 教員不足への対応
Q 学校の先生が足りていない現状と、新年度の状況について。また町費で採用する先生は誰ですか。
A 教育委員会でも先生方の協力のなかで、各方面への働きかけや情報収集等行いましたが、小・中学校各1名の教諭確保ができませんでした。町費採用の先生は小学校では講師2名、支援員5名。中学校では講師1名、非常勤講師1名、スクールカウンセラー0・5人、特別支援員1名を予定しています。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 防火水槽の更新と水道管の埋設工事です。埋設している防災管については、水管橋以外そのまま使います。また大井水組合とは、文化財係とは切り離すことで合意しています。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 妻籠宿の防犯カメラの設置状況は。
A 今年度設置をし、令和6年度も引き続き行いたいと思います。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 改良箇所の資料保管任として今後管理できない。
A 町道十二兼線、棚橋線改良工事については、今後管理するにも、一定の資料が必要であり、早急に関係資料を確保したいと思います。富貴畑は町が事業主体で、施行前から設計資料を持ち準備、施工することになると考えま

終わり工事を計画している段階です。来年度は法面改良・支障木伐採を中心に実施します。

●与川大桑村境の林道
●与川の北部では道路が町道から林道になる。水源もあり町境までを町道として管理でききないかという意見がある。

A 与川の堰堤は計画が再開し、新しい基準での再設計、用地測量など詳細への準備をしていると思います。多治見砂防事務所も、ダムの管理や工事を進め上での、与川線の改良や落石対策などは必要だと認識しており、砂防事務所には機会があるたびに話を聞いています。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 与川の堰堤は計画が再開し、新しい基準での再設計、用地測量など詳細への準備をしていると思います。多治見砂防事務所も、ダムの管理や工事を進め上での、与川線の改良や落石対策などは必要だと認識しており、砂防事務所には機会があるたびに話を聞いています。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 妻籠宿の防犯カメラの設置状況は。
A 今年度設置をし、令和6年度も引き続き行いたいと思います。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 妻籠地区防災施設整備事業の4300万円の内容と、上水道からの給水で從来の大井水の水利組合とは合意しているのか。
A 防火水槽の更新と水道管の埋設工事です。埋設している防災管については、水管橋以外そのまま使います。また大井水組合とは、文化財係とは切り離すことで合意しています。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 妻籠宿の防犯カメラの設置状況は。
A 今年度設置をし、令和6年度も引き続き行いたいと思います。

●中学校横の三叉路
●浄化槽の計画
●教育委員会関係
●ワゴン車の購入
●中学校の部活動支援でワゴン車2台購入
●与川入口の町道改良
●与川の国道から入った箇所で国交省が

A 改良箇所の資料保管任として今後管理できない。
A 町道十二兼線、棚橋線改良工事については、今後管理するにも、一定の資料が必要であり、早急に関係資料を確保したいと思います。富貴畑は町が事業主体で、施行前から設計資料を持ち準備、施工することになると考えま

堰堤の調査ボーリングをしている。事業のな

かで、町道与川線の改

て何か規定があるか。

要望 新年度は非常に厳しい状況で、先生方の負担も大きい。町に

博物館の入場収入 増収の計画となつてい

た。町負担は約7割になつて、この先の無償化への考えは。

A 子育て、特に学校に通う子どもの保護者負担を減らす支援策もやりたいと公約に挙げており、少しでも上乗せできればと考えています。

要望 新年度は非常に厳しい状況で、先生方の負担も大きい。町に

博物館の入場収入 増収の計画となつてい

た。町負担は約7割になつて、この先の無償化への考えは。

A 子育て、特に学校に通う子どもの保護者負担を減らす支援策もやりたいと公約に挙げており、少しでも上乗せできればと考えています。



南木曽町博物館入口

リニア関連

●博物館の入場収入 増収の計画となつてい

た。町負担は約7割になつて、この先の無償化への考えは。

A 子育て、特に学校に通う子どもの保護者負担を減らす支援策もやりたいと公約に挙げており、少しでも上乗せできればと考えています。

議会と町の意見交換 全員協議会

(2月26日、3月13日)

全員協議会とは…

議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中における協議、執行機関と議会側の意見調整などを行うための場で、議会の開会中及び閉会中にかかわらず議長の招集により開催し、公開を原則とします。

今回は7つの協議事項が出されました。
議員の意見を紹介します。

校外中間教室について

【説明概要】

様々な理由で学校に登校していない児童生徒のために、「その子らしさを大事にした自立支援をしていく」場所として、学校外に中間教室を設置します。

【協議の状況】

● 中間教室の規模

学校内とは別に南木曽会館2階に新たな中間教室を設置するようだが、一般的に言うフリースクール的なものなのか。何人くらいを想定しているのか。

● 教室への理解と支援

保護者や住民の理解の必要性等の質問がある。サポート体制については、学校の教員不足により2学級編成もままならない現状の中、専門的知識のあるサポートが見つかるかどうかといったことを懸念する声もあった。

サテライトオフィス・移住体験住宅整備事業について

【説明概要】

人口減少が続いている現状を踏まえ、仕事を続けながら移住体験ができるサテライトオフィス・移住体験住宅を整備します。今後の運用に向け、移住定住コーディネーターとして地域おこし協力隊を採用する予定です。

【協議の状況】

● 建物の適正評価

対象物件は築42年とかなり古く、使われなくなつてからの放置期間も長いため、荒れ放題で環境的にも良い状態ではない。計画を作るに当たり、使つてもうべき都市部の人の意見を聞いた上で配置や改装の見直しも必要ではないか。また、場合によっては新築した方が良いのではないか。

● サテライトオフィスの意義

サテライトオフィス及び移住体験住宅の建設は、町の移住定住推進策としてぜひ成功させてほしい事業だ。この2施設の管理運営を担う「移住コメディネーター」として「地域おこし協力隊」の募集をしているが、協力隊は町のことを十分把握しておらず、任期も3年間と短い。移住定住の促進を図るには重要な任務であると思うので、どのように運用していくか今後検討が必要だ。

移住定住促進空家活用住宅事業について

【説明概要】

都市部からの子育て世帯の移住定住を促すために、子ども部屋がある空き家を選定し、町が借り入れ、水回りなどを改修した後、貸し出します。町と入居者間の契約終了後、建物を所有者に返還するという事業です。

【協議の状況】

● 事業内容の課題

空家を活用して安価な住宅を提供することは良い試みだと思うが、家主が空家を提供する場合、空家の片付けが大きなハードルとなっている。片付けの手間と費用も町の経費計画に入っています。また改修に掛かった経費を家賃収入により10年で回収する計画だが、建物の経年劣化分を家主は回収できない。経年劣化を家主にどのように理解してもらうのかなど、家主と契約する際、事業をスムーズに推進していくけるよう今後の努力を求めたい。

● 計画の進め方

都市部からの若い移住者を呼び込む計画であるなら、北部地区の物件などは駐車場が必要だ。また、農地を求める人もいる。そのような借り手側の必要条件を十分に考えた対応を求める。また、令和9年度までに6棟を造成する計画であるが、町の各地域に片寄ることなく計画を進めてほしい。

南木曽町
地域防災計画
改訂案について

【説明概要】

町では、国・県の防災計画に沿って平成26年度以来9年ぶりに南木曽町地域防災計画を改訂しました。近年では、地球温暖化等を原因とする「爆弾低気圧」「線状降水帯」といった異常気象が大きな災害を引き起こしています。また能登半島地震のような地震の発生の対応も必要です。今回の防災計画は次の4項目を基本に改訂しました。1風水害対策編・2震災対策編・3原子力対策編・4その他災害対策編（雪害・航空災害等）です。

木曽広域連合では3月からケーブルテレビで天気予報や大雨大雪警報、河川や道路の状況が見られるように配信しています。

町道富貴畠線改良工事の進め方について

【説明概要】

町道富貴畠線改良は令和4年に広瀬地域振興協議会より要望書が出され、町ではリニア工事認可による制度を活用しての事業としてJR東海と協議を進めています。

●事業内容

リニア工事広瀬工区からの発生土等を活用し、町の事業として盛土造成と道路改良を行い、工事はJR東海が実施する予定です。用地はJRの補償金により町が購入し町有地になります。造成工事に合わせて中木線の改良工事も実施します。

町道沿いに約3000mと約1万3000m²の平地が造成され、水道用地等としての活用を予定しています。

造成地の町道部分以外の平地との面の維持管理はJR東海が行う方向で協議していますが、管理方法等も含めて協定書で定めます。

JRによる用地測量、詳細設計完了後に再度地元に説明が行われることになります。

町事業として用地の購入があり、新年度予算においてJR補償金による取得をする協議を進めています。

【協議の状況】

●町のメリット

リニア工事で水道への方が一の事態の時、配水池を作る場所、資材を置いておく場所などなかなか適地がないが、今回の盛土工事でできる平地は町の土地となるため、計画立てて使えるメリットがある。

●JRとの協定の問題

施工協定や管理協定などは、町有地であるため町との協定になる。使るのは町だが、今想定していない将来的な懸念などにも、JRが責任を持つて維持管理していくという文書を締結した上で施工するといった考え方が示された。

リニアの発生土処理において、土地は町有地で管理はJRがやるといふのは初めてのケースになり、他の置き場もこうしたやり方をしていくのかとの意見が出ている。

造成地等の維持管理においては、JRが責任を持つた施工を交渉しても技術力や人材の面で大変なので、JRに責任を持った施工を交渉しているとの説明があった。

最大高さ25mの盛土はだんだん沈下し、配水池が盛土の上に置けるのか、他にも色々問題が出てくるのではないかとの意見がある。

最大高さ25mの盛土はだんだん沈下し、配水池が盛土の上に置けるのか、他にも色々問題が出てくるのではないかとの意見がある。

南木曽町消防団組織編成の見直しについて

【説明概要】

団員数の減少により、消防車両の維持管理や出動体制などに影響が出ないよう調整したもの

です。

【説明概要】

町の男女共同参画計画の第4次計画をまとめました。今回の計画からは住民が男女共同参画に取り組みやすいように、1人1人が取り組む目標を設定しました。

【協議の状況】

●編成変えの評価

消防団が自分で考えてやつていくことは素晴らしいことだ。これによる消防自動車の配置など大きな変更はないようだが、団員の減少など状況の変化に対応していくことは必要なことだ。

団員の減少などがあり今後を見据え、1年間試行錯誤しながら編成を変えたわけだが、従来の方法からの変化への対応が上手くいくのか心配。

【協議の状況】

●計画の意義

男女共同参画計画は非常に大事なことで、ジェンダー平等といった流れや見方のなかで、自分の考えが問われてきている。しっかりと行う必要がある。

●役場での現状は

女性の方が高齢まで働く割合が少ないので役場の女性管理職は少ないが、最近は増えている。

女性職員のスキルアップを常時行い管理になれるよう望むという意見には、早いうちからの経験、研修を積めるよう努力していきたいとの回答があつた。

●今後の課題

男女の賃金格差が非常に大きい問題があると思うが、この計画の中では、経済的な問題について分析していない。ジェンダーの理解の状況もアンケートで取ってあるが、ジェンダー平等の国際的な見方や人権をどう捉えていくか、この計画も見直していくことが求められている。

南木曽町男女共同参画計画第4次計画の策定について

【説明概要】

町の男女共同参画計画の第4次計画をまとめました。今回の計画からは住民が男女共同参画に取り組みやすいように、1人1人が取り組む目標を設定しました。

報告 木曽広域連合議会

第1回定例会が2月29日開催され、令和6年度予算、第9次木曽広域連合介護保険計画などが決まりました。主な内容は次のとおりです。

●木曽広域連合消防手数料条例の一部を改正

●木曽広域連合介護保険条例の一部を改正

第9期介護保険事業計画の策定に伴い、令和6年度から8年度までの介護保険料率の改定や保険料所得段階の追加を規定した。所得段階は13段階となり、基準額は月5,600円。

●指定管理移行に伴う関係条例の整備に関する条例について

木曽寮の指定管理移行に伴い関係条例を改正・廃止する。木曽寮関係業務を健康福祉課に移管することなど。

●木曽地域高度情報化施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正

令和5年度末でケーブルテレビの050IP電話を廃止する。

●木曽広域連合補正予算関係

・令和5年度一般会計補正予算（第5号）

7,272万2千円を減額、総額47億2,363万4千円。

・令和5年度介護保険特別会計補正予算（第4号）

28万3千円を減額、総額42億2,418万9千円。

全員協議会

◆木曽広域連合財務諸表（令和4年度決算）の報告

◆不燃物処理施設の業務委託について

令和6年度からクリーンセンターの不燃ゴミ処理やリサイクルストックヤードの管理を業務委託する。

◆消防通信指令システムの共同運用の進捗状況

2月に飯田広域消防本部との連携・協力実施計画（案）を策定、3月末県に実施計画を提出予定。

◆自治体DX/ICT利活用計画の実施状況

令和5年度は、道路・河川情報等の提供をケーブルテレビの自主放送チャンネルに表示。6年度は回覧等の表示や会議用操作端末の導入検討。

●令和6年度木曽広域連合予算（下表参照）

一般会計予算は総額32億3,858万7千円で、木曽寮建設完了により前年度より約15億円の減額。

令和6年度木曽広域連合当初予算（単位：千円）			
会計区分	令和6年度	令和5年度	対前年度比較
一般会計	3,238,587	4,771,324	△1,532,737
介護保険特別会計	3,835,422	4,098,281	△ 262,859
総 計	7,074,009	8,869,605	△1,795,596
公営企業会計	令和6年度	令和5年度	対前年度比較
下水道事業会計 (収益的収支)	110,421	132,429	△ 22,008
下水道事業会計 (資本的支出)	24,211	23,886	325

報告 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会

2月16日に開催された2月定例会の主な内容は次のとおりです。

定例会

●令和6年度一般会計当初予算

予算総額43億1,400万円前年度対比2.5%1億400万円の増となっています。

●令和5年度一般会計補正予算（第2号）

4,300万円を増額し、総額43億7,200万円となりました。施設見込利用者のサービス収入の見直し及び職員退職手当の増が主な理由です。

●条例改正について

組合一般職の職員の給与、特殊勤務手当、会計年度任用職員の給与、職員の定年等に関する条例の一部改正、組合公告式条例の改正など5件の条例改正がありました。

●財産の無償貸付けについて

旧デイサービスセンターの3施設を、通所介護事業所として引き続き無償で貸付けるものです。

全員協議会

●組合のあり方検討有識者会議について

令和6年度内に有識者による検討委員会を立ち上げて下表の内容について審議するというものです。

検討内容

- 組合のあり方
公的機関が介護事業所を運営する意義
介護保険制度下における公的施設の経営課題
- 組合圏域別の課題解決の方向性
- 組合施設の集約・再編に関する事
- 四賀福寿荘・木曽あすなろ荘の施設の第10期以降のあり方
- 嘱託医の確保

【伊藤寿子議員の全員協議会での発言】

配布資料を見ればあすなろ荘の経営が赤字になっているのは明らかだが、ここまでに至ったのは定員数の急激な削減と係る経費がさほど変わっていない所にあると思う。あすなろ荘の4人部屋は無くしたら二度と再生できないということもある。また職員については今の状況の中、この1年間介護事故が起きておらず利用者さんご家族からも評判が良い。

有識者の皆さんには、これまで発言したあすなろ荘の良さ、事情を考慮して頂き、是非とも存続の方向でご検討をお願いしたい。

議会だより

委員会報告 リニア新幹線対策特別委員会

南木曽町議会・中津川市議会リニア特別委員会合同会議

令和6年1月29日、南木曽会館多目的ホールにおいて、中津川市議会リニア特別委員会との合同会議を行いました。平成27年から毎年開催し、双方の状況を行政の各担当者が説明し、それぞれの地域の課題を認識しあう会となっています。南木曽町議会からは議長、委員（9名）、町長、中津川市議会からは議長と委員（9名）、また各市町の担当者らが出席しました。

【あいさつ】

・**山崎隆二南木曽町議長** 幸せ信州、国道19号の交通帯域を広げる話、リニアによる人流、今後の合同会議の存続等。

・**吉村浩平中津川市議長** 様々な自治体からの視察、ネットワークを活かすのが使命、19号右岸道路への協力、市長の交代、今後の交流計画等。

・**向井裕明南木曽町町長** 中津川市とは道路、観光、日本遺産、SDGs等の連携を次に繋げたい。リニア効果の期待がある。

【各種報告】

・**中津川市議会委員会（櫛松直子委員長）** 濃飛横断道促進、三市一村（郡上市・下呂市・中津川市・東白川村）会議、恵那市議会合同会議、リニア視察等。

・**南木曽町議会委員会（赤坂孝委員長）** 町の対策協議会に向けた委員会の意見集約、リニア工事の大きな課題（トンネル掘削の発生土置場の確保、水資源の影響）について等。

・**中津川市** 岐阜県駅周辺関連整備、濃飛横断自動車道、（仮称）神坂スマートインター等。

・**南木曽町** 山口工区、広瀬工区、尾越工区、水道水源予備的措置、リニアを活かす取組等。

【意見交換、主な質問】

- ・岐阜県駅と中津川駅の連絡
- ・駅構内の飲食店、カフェ、駐車場の設置整備
- ・現状JRダイヤ特急列車、快速の停車等
- ・神坂スマートインターチェンジの開通予定
- ・観光客（馬籠～妻籠）の構想について
- ・南木曽ー中津川線の道路改良の進捗
- ・水道水源予備的措置の本設・仮設について



▲中津川市議会との合同会議の様子

また3月21日に同委員会を開催し、第41回リニア対策協議会での対応を検討しました。

（文責：赤坂孝委員長）

議会の傍聴にお越しください

定期会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。詳しい日程などについては、町ホームページ、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせしています。

※3月の議会は、3日間で9人の傍聴がありました。



編集後記

議員の任期最後の本会議が終わり、議会報の編集を行っています。

国会では政治と金が問題となっていますが、有権者ではない企業からの献金を自在に使っていることに違和感があります。献金には力があり、議員に有権者から付託された権利の行使を、企業が横取りする力になりはしないか。

政治とは何か、議会の何をどのように伝えなくてはいけないのか、試行錯誤の4年間が過ぎました。このごろは議会の様子を伝える手段も増えていました。これまでにできなかつたことは次に託します。議会報への叱咤激励ありがとうございました。

早川 田中 伊藤 坂本 親利 寿子 满記
議会報編集委員

熊報 だより

公民館長就任あいさつ



公民館長 岡本智治

公民館長4期目就任に当たって

この4月より4期目の公民館長を仰せつかりました岡本智治です。振り返ると2期目3期目はコロナ禍で、ほとんど公民館活動ができませんでした。

しかし、その間温めてきた企画があり、昨年秋から少しずつその活動を実施することができました。そして、4期目の新年度は企画に予算をつけてもらい、本格的に活動がスタートします。町民のみなさまに楽しんでいただける活動を推進していきます。ご期待ください。

分館報告

・広瀬分館・

3月24日(日)名古屋城とトヨタ産業技術記念館の見学に行ってきました。



令和6年2月25日開催
第32回分館交流ソフトバレーボール・

ボッチャ大会結果

ソフトバレーボールの部

優勝	三留野A
準優勝	田立A
第3位	田立B
第4位	与川IA
第5位	三留野B
第6位	蘭A
第7位	蘭B
第8位	三留野A
第9位	妻籠B
第10位	妻籠A
第11位	与川IA
第12位	広瀬A
第13位	北部A
第14位	北部D
第15位	北部B
第16位	北部C

ボッチャの部

優勝	与川B
準優勝	蘭C
第3位	田立A
第4位	蘭A
第5位	三留野B
第6位	与川IC
第7位	蘭B
第8位	三留野A
第9位	妻籠B
第10位	妻籠A
第11位	与川IA
第12位	広瀬A
第13位	北部A
第14位	北部D
第15位	北部B
第16位	北部C

講 場	日 時	公 民 館 講 座 南木曾 の 歴 史
師 所		第 1 回 5月19日(日)
南木曽町博物館名譽館長	午前9時～午前11時	妻籠宿場内他
遠山 高志 氏		



戸籍の窓口

2024年3月届出分（敬称略）
(了承のあった方のみ掲載しています)

戸籍の手続きに関するページはこちらから



5月 休日当番医

※当番医は変更になる場合がありますので、必ずお問い合わせのうえ、お出かけください。

木曽郡

3日(金・祝)	大脇医院 (上松町)	☎ 52-2023
4日(土・祝)	奥原医院 (木祖村)	☎ 36-2264
5日(日・祝)	王滝村診療所 (王滝村)	☎ 48-2731
6日(月・祝)	原内科医院 (木曽町)	☎ 22-2678
12日(日)	芦沢医院 (上松町)	☎ 52-2018
19日(日)	古根医院 (大桑村)	☎ 55-1188
26日(日)	田澤医院 (木曽町)	☎ 44-2008

国民健康保険坂下診療所

4日（土・祝）9～17時
☎ 0573-75-3118

県立木曽病院

救急医療：☎ 22-2703
365日24時間診療可能です

◆咽頭痛、咳、鼻水など風邪症状のある方、インフルエンザや新型コロナ（疑い含む）の方は、火曜日を除く平日14:00～15:00に内科外来を受診してください。小児科は通常外来の受付時間内に受診してください。
ご相談・お問い合わせ 長野県立木曽病院 ☎ 22-2703

5月のごみ収集日

収集日の朝8時までに集積場所にお出しください。
ごみの後出しは収集しません。

地区	収集物	プラ容器包装	ガラス 陶器類 乾電池	資源びん ペットボトル 発泡スチロール 蛍光管	ダンボール 雑誌・雑がみ
三留野	2日(木) 16日(木)	8日(水)	4日(土)	1日(水)	
与川・金知屋	2日(木) 16日(木)	15日(水)	25日(土)	22日(水)	
北部	3日(金) 17日(金)	15日(水)	25日(土)	22日(水)	
沼田・天白・川向	2日(木) 16日(木)	1日(水)	25日(土)	22日(水)	
妻籠	2日(木) 16日(木)	1日(水)	18日(土)	8日(水)	
蘭・広瀬・上在郷	3日(金) 17日(金)	22日(水)	11日(土)	15日(水)	
田立	3日(金) 17日(金)	31日(金)	18日(土)	8日(水)	

お知らせ

◆ごみの減量に取り組みましょう。

■Reduce (リデュース) : 発生抑制

■Reuse (リユース) : 再使用

■Recycle (リサイクル) : 再生利用

※ごみになるものを買わない、作らない、受け取らない。

※捨てる前にもう一度利用できいか考え、繰り返し使用。

※リサイクルできるものは環境への負荷を考慮してリサイクル。

◎5月29日(水)は休業となります。

2024年

5月 町のカレンダー

■5月は、「軽自動車税」の納付月です。

〒399-5301長野県木曽郡南木曽町読書3668-1
TEL 0264-57-2001 FAX 0264-57-2270

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3 憲法記念日 秋葉山神社祭礼	4 みどりの日
5 こどもの日 与川白山神社祭礼	6 振替休日	7	8	9 心配ごと・ 認知症・ 結婚相談所 10:00~12:00 (役場2階)	10 ほっとカフェ花馬 10:00~11:30 (のどか)	11
12	13	14	15 ほっとカフェ桃介 10:00~11:30 (桃介亭) 乳児健診 9:00~ (田立園)	16	17	18
19	20	21	22 ほっとカフェつまご 10:00~11:30 (妻籠町並み交流センター)	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

健康しあわせ係事業は **あお色** をごらんください。

※母子手帳の発行は随時予約制となっています。交付希望日の3日前までに電話連絡をお願いします。

子育て支援事業は **ピンク色** をごらんください。

※新型コロナウイルス感染拡大などの影響により日程が変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

※おやこのひろば  は、月～金曜日の9時～15時まで開催しています。
開催場所は、各日の下段に記載されている施設で行います。昨年4月からの広報誌は、
町のホームページでも見ることができます。[http://www.town.nagiso.nagano.jp/
list/info/index_koho.html](http://www.town.nagiso.nagano.jp/list/info/index_koho.html)南木曽町役場
広報ホームページ